

交響戦隊 レゾレンジャー ～女幹部様に負け汁垂らして崩壊END～

目次

設定

登場人物

概要

台本

Chapter1

Chapter2

Chapter3

Chapter4

Chapter4-2

Chapter5

設定

登場人物

主人公：

- ・ レゾレッド
- ・ ヒロインのことがひそかに好き
- ・ 正義感に燃える熱血系 異性関係は奥手
- ・ 口癖「助け合いは世界のハーモニー」

ヒロイン：

- ・ 名前 シノミヤ シオン(レゾパープル) (17歳 高校3年生)
- ・ クール 釣り目のロングのヘアスタイル(髪色や目の色はレゾパープルなので紫系で)
- ・ 元はBカップ⇒改造を受けて超乳レベルに(一章ではミザリアの認識変化魔法のかかった服をまとっているため勘付かれていない。)
- ・ 頭脳明晰で並列思考が可能(※1)

※1⇒敵の改造を受けて並列思考が並列人格に拡張される。これにより従来のレゾレンジャーとしての正義の姿を保ちながらインスベータの思考を植えられた人格を同時に持ち合わせることが可能になっている。ただしアップー系のドラッグを摂取したような快楽に満ちた幸福の最果てのようなインスベータの思考の虜になり、徐々に元の人格が不要になってきたためChapter5の後しばらくして元の人格は削除された。

女幹部：

- 名前 ミザリア様
- ただしゃべるだけでエロスの絨毯爆撃の粉塵爆発を引き起こすエロエロ大人のお姉さん
- 激強 基本丁寧口調(興奮すると少し口調が乱れる)
- 髪色は黒のロング 目は赤
- ゴスロリの衣装がお好き
- 飴の人格と鞭の人格を有しており
- 基本戦闘力 魔力ともに最高クラスで特に電波を操るのに長けている。これによって音や映像の伝達や他者の脳の電気信号に介入し思考を改変させることができる。その気になれば地球上の人間の常識を一度に少し歪めることができる。これを毎日使用して思考を石を穿つがごとく徐々に歪め続ければ半年程で人類を意のままに操ることができる。したがって本作にて前線にて人類を蹂躪しているのは単なる余興であると同時に骨のある下僕候補を探すためである。

女性戦闘員：

- 名前 ファーネ
- Chapter3にて登場するミザリア様の部下
- その正体はシオンで並行人格のうち悪堕ちした人格
- 元の人格とはかけ離れたビッチでギャルな軽い性格である一方慕っているミザリアには敬語。
- 見た目も元の清楚でお堅い感じではなく露出の多い衣装 一応身バレ阻止のため目の部分だけマスクをしてる。(黒ギャル化も可 お任せします。)
- 戦闘力の描写はないが少なくともレゾパープル時より圧倒的に強い
- 髪型、髪色や目の色はシオンの時とは変化している（明るめの色でツインテール）

概要

要約

悪墜ち済みの女の子と女幹部の手中で踊らされ敗北をこれでもかと突き付けて最後には快樂悪墜ちしちゃう作品

世界観

20XX年突如宇宙が「インスベータ」襲来した。彼らは本能の開放を掲げながら人類を欲に溺れさせ、人としての誇りや尊厳を奪ったのち家畜として支配する一方、逆らう者には容赦なく命を奪うことで人類から人類たらしめてる全てを略奪していった。しかしそんな襲来者に勇敢に立ち向かう者たちがいた。人々から彼らはこう呼ばれている。「交響戦隊 レゾレンジャー」

台本

※以下台本は脱稿後のものから指示等々を削除したものです。本編とは食い違う箇所がありますがご了承ください。

凡例：

ミ⇒ミザリア

シ⇒シオン(ファーネ)

ミ 1⇒ミザリア 1

ミ 2⇒ミザリア 2

Chapter1 帰ってきた レゾパープル (反って来た レゾパープル)

方針：表の声はクールな知的な優等生な感じで 心の声は完全にバカにしきった見下した感じで

見抜き+足コキ

心の声はおまけで使用。全て正面近距離からで

みんな久しぶり元気にしてた？

心の声：(まずはバカ共の警戒を解くところから開始♪)

なによ幽霊みるような目して

本物よ本物。本物のレゾパープルのシノミヤ シオンよ

あーもう！

いきなり距離が近いのよバカレッド

なによ私がもう戻ってこないとでも思ってたのかしら？

心外ね。

まあでも無理もないわね

ええ確かに私はやつらに捕らわれたわ

でも隙を作り出して逃げ出してきて今に至るの

私の頭脳にかかればこんなものよ

って言いたいところだけどさすがに今回は死を覚悟したわ

こうしてもう一度みんなの顔見れてよかった...

そこのレッドのバカそうな顔もね♪

あーら♪

バカじゃないと言うなら少しは私がいないうちに賢くなったのかしら？

ほんとかしら？

んじゃあ♪月桂樹の花言葉は？

はい、3、2、1時間ぎれ♪

ふふ♪全然賢くなってないじゃない♪

正解？後で自分で調べなさい♪

くすっ...ふふふふふ...いいえ♪バカになんかしてないわ♪違うのいや確かにバカにしたけどそれよりこうして貴方と他愛もない会話ができるのが嬉しいの♪

心の声：(ちょろろ〜♥やっぱ人間って下等生物だわ〜♥さあてこんなバカたちとの会話なんて切り上げてさっさとバカレッドと二人になろうかしら？)

って他愛も会話をしてる暇じゃないわ

敵地に連れられて色々情報をつかんだからさっそく...はなす...わ...

ごめんなさい...ちょっと疲れてるみたいね...でも今話した方が...

ふふ...心配してくれてありがと♥

わかったわみんなの言葉に甘えさせてもらって少し自室で休むわ

大丈夫...自分で行けるわ...

ってレッドちょっと人の話聞してる？私はひとりでって...

ふふ...「助け合いは世界のハーモニー」あなたの口癖。

ほんとに変わらないのね。

それじゃヒーロー様の肩を借りさせてもらおうわ。

それじゃみんなごめんなさいねちょっと休ませてもらおうわ。

またあとで会いましょ。

心の声：(なにがハーモニーよ馬鹿らしいwご主人様の理想を乱してるのはそっちじゃない♥)

ありがとレッド助かるわって...あなたなんか顔赤くないかしら？熱でもあるの？

(なーんてシオンちゃんに夢中だからドキドキしちゃってるんでしゅよねえ〜♥)

なによ？

いいたいことあるならはっきり言いなさいよあなたらしくないわよ。

胸？ああおっぱいが当たってるって？

貴方にもたれていないと今にも倒れそうなの...

それにこうしてる方が安心するの...

心の声：(ああー童貞弄ぶのたのしーちょろー♥おっぱいちょっと当ててからかってあげるだけで私のこと意識しまくりい〜♥もっとからかってあげる♥)

私ね、すごい怖かった...

いつ死ぬかわからなかった...

周りは人の常識など通用しないや人の尊厳どころか形を失った化け物たちばかりで...私もそんな風になるって考えただけで死んでしまいたくなった...そしてそんな状況でも理性を保とうとする自分に恨みもした...

もうあなたに会うことなんてできないって何度も思った。何度も貴方の名前を心で叫んだ。何度も貴方の顔を浮かべた。そして今こうして再び貴方に会えた...貴方に触れることができる貴方の温もりを感じる...私...生きてる...いつ言えなくなるかもしれないかもしれない...だから今言うわ。

好き。レッド。あなたのことが。大好き♥仲間としてじゃなくて一人の人間男性として貴方が大好き♥

突然で驚いた？でも今がいいの今しかないの受け止めてくれるかしら？

ふふ...いつもの元気はどうしたの？

ほんとにピュアねあなた。

そういうところが好き♥大好き♥

心の声：(はあい♥うぶな童貞君のハートゲット♥でもざあんねえ〜ん♥私の心は既にご主人様のものなのでしたあ〜♥)

ね？キスしましょ？

あなたと私の心が一つに調和したこと感じたいの...

ってどこまで私にリードさせる気？

ほかの人が見たら笑われるわよ。

いつものリーダーらしいとこ私に見せて♥

心の声：(ご主人様〜♥メス豚シオン今からご主人様のこと思い浮かべながらキスしまあすねえ♥)

んっ...

ちゅっ♥(軽くキス)

ふふ...好き...

心の声：(ご主人様が♥)

もっとしましょ♥

あぁん...♥じゅるっ♥じゅっ♥じゅるちゅっ♥んっ♥じゅうううう♥んぱっ♥(ディープキス音)

心の声：(宇宙で一番♥しゅきです♥ご主人様あ♥ってかキスへったくそお〜あーご主人様のペロテク味わいてえ〜)

(キスしながら)

好きよ...レッドあなたのことが...めちゃくちゃに...壊しちゃいたいくらいに...ね

心の声：(好きい〜♥ご主人様のことがしゅきでしゅうう〜♥めちゃくちゃにしてください♥)

ん...たんなる比喻よ...ほんと真面目バカね♥

それよりいつまでもここでいちゃいちゃしてたら見られちゃうわ。

さっさと私を部屋につれていってくれるかしら？私のヒーローさん♥

ここまで一章前半

ここから一章後半

手を貸してくれてありがとレッド

うん大丈夫ちょっとよくなったわ自分で歩けるわ

この部屋も久しぶり

ほんとに戻ってこれたのね

ほんとにそのまんま...ほこりがたまった形跡がないわね

誰か手入れでもしてくれたのかしら？

もしかしてレッド、あなた？

あら？ほんとに？

ふふ...ありがと待ってくれたのね私のこと♪

心の声：(そんなことで私になびくと思ってるとかちょーうける〜www)

でも...女の子の部屋に勝手に入るのは感心しないわ

見たのかしら？私のタンスの中とか？

あっやっしい～

その証拠にあらあ～？

私のお気に入りの下着がないわよ？黒のレースのやつなんだけど～あら～w？

それは知らないってそれ以外は知ってるのかしら～？

ふふ...こんな簡単にひっかかっちゃうなんて先が思いやられるわよ

心の声：(もう負けも同然なんだけどねチョコレッド♥)

嘘つけないなんて正義の味方も楽じゃないわね

正直に白状なさいタンスの中見たのね？

たまたま偶然ね...

それで盗んだのかしら？

なぁんだつまんないの...でも迷ったんじゃない？私の下着見つけたとき盗ろうかどうか

あらあ～？顔赤くなってるわよお～？正義の味方がいいのかしら？

女の子の下着勝手に見た上盗ろうとしてえ～？

みんなにいったらどんな顔されちゃうのかしらね～？

下着ドロがみんなに信頼されると思ってるのかしら～？

クスっ...ふふふ...真剣に考えちゃってほんと真面目バカねあなた。

でもそこがいいところ♥

いいわ貴方も男の子ですもの水に流してあげる♪

ただし...私の目の前でオナニー見せてちょうだい♥

仮に大好きなあなたが私の下着盗んでたらどうしてたのか見たいの♪

どれだけ私のことを頭いっぱいにしてどんな風に自慰行為をするのか見たいの

いいでしょ？

心の声：(さあてレッドあなたには心底負ける前に小さな罪悪感と羞恥を植え付けて正義に隙を作らせてあげる♥)

(左耳近距離囁き)

あなたのこーこ♥

股間のすけべなおちんちん

シオンのこと考えながら

おっきくさせてしこしこ♥ごしごし♥

大好きな貴方が大好きなシオンのこと考えながら

しこしこシオンのパンツコキ使ってシコシコピュッピュッする姿が見たいの♥

心の声：(お下品な言葉言うのシオンだあいすき♥ほらぁはやく食いつきなさいよ馬鹿レッド♥)

(右耳囁き)

いいでしょ？私のヒーローさん♥

おかずだったら目の前の私になってあげる♥

いなくなって心配かけた分

いっぱい見せてあげる♥

どうして欲しいのかしら？

そういえばさっきおっぱい当たって喜んでたわよねえあなた♥

(正面近距離)

そうなの前よりおっぱいおっきくなったみたいなのなんでかしらねえ～？

心の声：(ご主人様の調教の賜物ですう～♥)

ほんと人が必死な時に空気のよめないおっぱいよね

心の声：(ほんとにご主人様好みの乳袋になれてシオン嬉しいですう～♥)

でもこうして大きくなってしまった以上愚痴っても仕方ないわね♥

見える？これが谷間♥ここに手を入れたい？かしらそれともこうしてパンパン♥ちんちん挟まれたいかしら？

心の声：(あぁん♥胸の淫紋見えちゃいそう♥)

大好きなシオンのおっぱいが目の前にあるのよ？

こーふんしないのかしら？

なんならちょっとはできれば乳首見えちゃうのよ？

手出さないの？

あら？淫らなことって？

ふふwほんとバカがつくほど真面目ね

そこが好き。でもそこが隙になるの

意味がわからない？

いい？インスベータは人のいや生物の本能・欲望を利用するわ

とすると性欲に対してただ拒み抗うだけではだめなの。

むしろ逆。

受け入れて飼いなさなきゃいけないの。

実際私はそうすることで耐えられたし捕まる前より敵を理解することもできた

それに...ふふ...そもそも前かがみにさせて言っても説得力皆無よ

目線も私のおっぱいめがけて伏し目がち♥

私のおっぱい見ながら何考えてるのかしら？

おっぱいもみもみ？

乳首こりこり？

おっぱいちゅーちゅー？

おっぱいばふばふ？

一体どれなのかしら？

心の声：(ちなみにシオンはご主人様に乳首アクメキメさせられたいですぅ〜♥)

我慢できないでしょ？

だったらさっさと私にオナニー見せてちょうだい♥

心の声：(うわぁちっちゃ...ご主人様の五分の一もなくてかわいそう〜♥そのうえ皮被りの真性包茎とかざっこ♥)

ん...ううんなんでもないわなんでもないかわいいちんちんしてるって思っただけ♥

大丈夫よ自信もってかわいいちんちんも好きよ♥

あんまり大きいと痛いだけですもの♥

心の声：(んなわけねえだろばーか♥そんなちんこで堕ちるメスいるわけないじゃん♥)

こんにちはおちんちんさん♥

ふーーーーー♥ふっ♥ふっ♥ふーーーーー♥

上手にお返事できていいこね♥

心の声：(ちっちゃい上にふにゃちん♥息吹きかけるだけで飛ばされそうじゃん♥ざっこ♥)

あなたにもご挨拶♥

ふーーーーー♥ふっ♥ふっ♥ふーーーーー♥

それじゃああなたのオナニー見せて♥

普段どおりオナニーしてごらんなさい♥

へえ〜あなたそうやって扱くのね

おちんちんの皮でごしごし♥皮オナってやつかしら？

すっごくかわいいわぁ〜♥

あの強くて頼もしいレッドとは思えないわね♥

くすっ♥くすっ♥くすっ♥ほんとなっさけないわぁ♥

あら？

もしかして辱められて気持ちよくなってるのかしら？

あなたもしかしてマゾ？

つまり頑張れー♥って応援されるより...

ばーか♥って馬鹿にされるのがお好みってこと？

くすっ♥くふふふ♥

心の声:(何度でも言ってあげるわ♥ばーか♥ばーか♥ばぁか♥)

応援する人が知ったらどう思うのかしら？

貴方を尊敬する子どもたちが知ったらどんな顔するのかしら？

サイテー♥ヒーロー失格ね♥

ふふ...そして今のでペニスしごく速度があがる♥

大好きなレッドがよっわちいマゾなんてがっかりだわぁ〜♥

じゃあ私のバカレッドバカレッドって言うたび言い返してたけど

満更じゃなかったのね

このバカレッド♥

ほんと...最悪ね♥

でも...嫌いにはならないわよ

マゾなあなたも私好みよ♥

心の声:(だってこんなに扱いやすいんですもの♥)

普段とのギャップあってすごくかわいいと思うわよ♥

バカレッド♥

↑↓(同時に)

心の声(バカレッド♥(バカにした感じで))

心の声(さて予定ではそろそろ頃合いかしら♪)

あら?こんな時に敵襲!?

ほんと...空気の読めないやつらね

なに?やめる?

(左から右斜め前へ回り込むように)

ダメ♥

射精するまでいっちゃダメ♥

お留守番♥

これは命令♥

わからない？

だから馬鹿なのよバカレッド♥

彼らが私たちの本能を利用するのはよく知ってるでしょ？

そんなムラムラした状態でいったら負けに行くようなものよ

大丈夫♥

他の仲間がなんとかしてくれるわ♪

心の声：（ボロ負けでしょうけどね♥）

それとも仲間を信頼してないのかしら？

でしょ？

わかった？

心の声：（はぁい♥敗北けてーい♥）

今あなたにできることは惨めにシコシコしてさっさと射精するだけよ♥

バカレッド♥

でもそうは言ってもまじまじと見ると滑稽ね♥

みんなが必死に戦ってるのに肝心のリーダーは女の子に囁かれて オナニー してるなんて

みんな心配してるかもしれないというのに

自分だけちんちん気持ちよく快楽を貪ってるなんて知ったらみんなどんな顔するのかしら？

くすっ♥きっと軽蔑するでしょうね？

敵に襲われ恐怖している人もいる一方

安全なところであなたは皮被りチンチン弄って気持ちよくなってる

ヒーロー以前に人として失格ねあなた♥

くふっ♥ほらそうするとまたマゾちんちん抜く速度あがる

他人救うより救えない自分救った方が先じゃないのw？

助けを求める人に申し訳ないと思わないのかしら？

申し訳ないと思うなら

助けたいと思うなら

さっさとその粗末なちんちんから精子出しなさいダメレッド♥

そもそも申し訳と思ってたらこんな罵倒でシコシコするとかありえないんじゃないかしら？

ねー？声援より罵倒がお好みのヒーローさん♥

心の声(おまぬけバカヒーロー♥)

いきそう？ならいきなさい♥バカザコレッド♥

心の声(さっさといっちゃえざーこ♥ざーこ♥)

人の命よりオナニーを優先するヒーローさん♥

私の囁きに翻弄されて

くすっ♥笑われて

心の声(くふふふふふふ♥)

ふふっ♥弄ばれて

心の声(あははははははは♥)

びゅーびゅーびゅー♥

どくどくどく♥

背徳と快感のままに堕ちなさい

マゾレズレッドちゃん♥

↑↓(同時に)

心の声(マゾレッドちゃん♥)

(射精音)

はいい♪バカレッドのみじめな射精はいりまゐす♥

びゅーびゅーしまちょうねえ〜♥

みんな必死に戦ってる中平和そうにアホ面して出す精液はどう？

ていうか私罵倒しかしてないんだけどどうして射精してるのかしら？

言葉で詰ってあげるだけでいっちゃうなんて

これじゃ私とのセックスなる日はいつになるのかしら？

(その粗チンと性癖じゃ100回転生したって無理バーカ♥)

そうやって虐められるとさらに精液出しちゃうのねつくづくマゾで救いようがないわね

まゐそもそもあなたの早漏皮被りチンチンなんて相手したくないんだけど♥

ほらまだ残り汁ないか確かめてあげる♥

あらあらwww皮とちんちんの間からちょろちょろ溢れてるwwwなっさけな—い
wwwはっずかしいヒーローさんwww

これでよしと♪はあいお疲れ様♥

いつまで惚けてるつもり？

さっさと行ってきなさい♪仲間が待ってるわよ♥

私？私も一緒に...って言いたいけどこの体調じゃみんなの足を引っ張るだけだわち
よっと休んでから行くわ♪

大丈夫♪ちょっと休めば治るから

それに...どっかの誰かさんが足や床に精液ぶちまけたから後始末したいのいいでし
よ？

ふふ...謝らなくていいの♪オナニーしなさいって言ったの私だし

謝るくらいなら敵を...インスぺクタたちをやっつけてきてちょうだい♥

うんその意気よさっきとは大違いね

それじゃまた後で会いましょ♪

さっきのクイズ覚えてる？そう月桂樹の花言葉♥

あれの答え教えてあげる♥

勝利よ♥

心の声：(そう♥月桂樹の花言葉のうちの一つはね♥)

頑張ってるね私だけのヒーローさん♥

(ほっぺにキス)

心の声：(せいぜい頑張ринаさい♥そしてご主人様にひれ伏すといいわ♥バカレッド
♥)

Chapter2 女王降臨 平伏する正義

場所：外

んんー♥ああん♥

そんな顔されるとさらにいじめたくなっちゃいますわ♥

はあい♥シコシコ♥ぱふぱふ♥シコシコ♥ぱふぱふ♥シコシコ♥ぱふぱふ♥

もっと乱れていいですよ♥

ほんと弱い弱いですわ〜♥

ちんちん掴まれおっぱい押し付けられただけ為す術なく屈する...

殿方のなんと扱いやすきことでしょう♥

あらあら♥またお精子の粗相ですか？

ふふ♥これでもう何回目でしょうか？

そんなことはどうでもよろしいですわね♥

もっと出してくださいまし♥

そして全てわたくしにささげわたくしの主君のために生きてくださいまし♥

あら♥精液ではなくほんとの粗相をしていますわよ♥

うれしょんというものでしょうか？

ふふ♥賛同していただけてわたくしも嬉しい限りですわ♥

あら？どちら様でしょうか？

ん？ブルー...？はな...す...？

もしかしてこの方のことでありましょうか？

でしたら素直にあきらめてくださいまし...

いましがた彼はわたくしの下僕になることをお選びになりましたの♥

そうですわよね？下僕さん♥

ほらこの通り♥下僕さんのお顔見えますでしょうか？

私と自分が気持ちよくなることしか考えてない恍惚とした表情...

素敵ですわぁ♥

あっ♪そうですわ♥

あなたも下僕にしてさしあげますわ♥

見たところ大変かわいらしいお顔していっしょにいますし歓迎いたしますわ♥

イ・イ・こ・と♥いっぱい♥

丁重におもてなししてさしあげますわ♥

あら...残念♥

ふられてしまいましたわ♥

ふふ♥それにしても愉快ですこと♥

確か...ブルーとおっしゃいましたか？

先ほどのこの下僕さんと同じ反応するんですもの♥

いいですわ♥

でしたら同じようにどちらが上位者か叩き込んでさしあげますわ♥

あっ♪わたくしとしたことが申し遅れましたわ♥

わたくしミザリアと申しますの。以後お見知りおきを♥

くすっ♥

レゾ...レッド...それが貴方の名前ですか？

どこかで聞いたようなまゝどっちにしてもさしたる問題ではありませんわね♥

だって下僕の名前なんて覚えるだけ時間の無駄ですもの♥

その代わり...

ご主人様となるわたくしの名前をよく覚えてくださまし♥

ちゅっ♥

あら♥失礼♥隙だらけだったのでつい♥

もしかしてこれで全力とか申しませんよね♥

あら♥でしたらはっきり言わせていただきますわ♥

(特に馬鹿にした感じで) **ざーこ**♥

ですわ♥

(2〜3発殴る音)

(地面にたたきつけ踏みつける音)

(真ん中中距離 可能であれば見下す位置から)

くす♥随分とお弱いこと♥

わざわざ負けにいらしたのでしょうか？

(踏みつける音)

でしたら殊勝なこと...

褒めてさしあげますわ♥

(踏みつける)

あら♥否定なさらなくてもいいのに♥

いじらしいお方ですこと♥

わたくしの足の下敷きになれることは大変な名誉ですよ♥

私の下僕は私に踏まれるために必死に功績をあげようと働いてくださいますの♥

(踏む音)

(ぎりぎりと体重をかける音をかけつつ)

私の柔らかいおみ足の感触と香水と体臭の入り混じった香りを感じながら私の全体重をその身で感じられる多幸福感

そして私と貴方の間の埋めがたい格差をまざまざと見せつけられる劣等感敗北感

その全てが私に仕えることで享受できる快樂♥

私の下僕だからこそ至る幸福の境地♥

(踏む)

貴方も少しはおわかりになりますでしょうか♥

でしたらわたくしの踏み台となれることに感謝なさってくださいまし♥

(踏みつける)

あら♥強情なこと♥

片足では少々物足りないのでしょうか？

欲しがり屋さんですね♥

では両足で失礼させていただきますわ♥

(両足で乗る)

あら♥あら♥いい声でお鳴きになりますのね♥

うっとりしますわ♥もっとその声わたくしに聴かせてくださいまし♥

くす♥くふふふ♥なんとなさけない声なのでしょう♥

あの方に盾突いているので多少は歯ごたえがあるかと思いましたが...この程度とは...たわいもないですわ♥

それよりどうでしょう？

貴方のようなザコは一生かかってもあの方に勝ち目はありませんわ

それよりもわたくしの下僕のふさわしいと思いますわよ♥

わたくしの下僕はみな等しくこの快感を得られましてよ♥

わたくしに虐められてあられもない姿にされてしまいますの♥

このように踏まれて♥

(踏む)

いいなりになって気持ちよくなれますの♥

ゾクゾクいたしませんか？

でしたら改めてお聞きいたしますわ♥

わたくしの下僕になっていただけませんか？

ふふ♥あら♥またふられてしまいましたわ♥

(踏む)

それどころかわたくしたちの行いがこの世界の調和を乱しているという

ご高説までしていただき感謝いたしますわ♥

お返しに蹴ってさしあげますわ♥

(蹴る)

調和とは本来混沌ですよ

貴方のいう調和とは所詮人間の想像力の域を脱し得ないもの...つまり予定調和♥

おわかりかしら？

(蹴る)

その点あの方は違いますわ

あの方は混沌そのもの

宇宙を混沌に帰した暁には皆あの方と一つになりますの♥

そして私もあの方と一つになれる♥

(踏む)

くふふ♥

まあ今すぐに頭で理解してもらわくても結構ですわ♥

じき、その肉体に否が応でも刻まれるのですから♥

混沌とした快楽と一つになりたい欲求その両方が♥

それまでいましばらくわたくしに弄ばれてくださいな♥

(踏む)

さてそろそろ貴方にもわたくしの物となっていただきましょうか？

今わたくしの足にまわりついてますおこぼれをもらおうと必死な貴方の元仲間には私の服になっていただきましたの♥

わたくしが体をぴっちり密着させましておっぱいばふばふさせてあげましたの♥

するとどうでしょう？最初は貴方と同じように抵抗なさっていたようですがこの方ったらわたくしの感触と香りと声にメロメロ♥

気づくと小さなペニスを必死に大きくしてわたくしにすりすりこすりつけてるではありませんか♥

それはもう盛って見境をなくしたワンちゃん以上にへこへこ♥

なんと惨めで可愛いことでしょう♥

あんまり愛おしかったのでわたくし自らシコシコしてさしあげましたの♥

そこからは貴方もご覧になられたとおりですわ♥

次から次へと子種をピュッピュッとおもらし♥

ついには下僕になることを受け入れてうれしょんをしてくださいましたの♥

あの時の恍惚とした表情素敵でしたわ♥

あら？今のお話で興奮なされたのですね♥

股間の方がわずかながら膨らんでるようにお見受けいたしますわ♥

それではお待たせしましては申し訳がたちませんわね♥

ですがその前に足もとの下僕さんは少々邪魔ですわね♥

少々黙っていただきましょう♥

後でお相手して差し上げますのでそれまでごきげんよう♥

そい♥

少々お見苦しいところをお見せしてしまいましたわ♥

では続きを♥

わたくし少々疲れましたのでクッションになっていただこうかしら♥

あなたのお顔に私のお尻♥置かせていただきますわ♥

ふふ♥とても嫌がってるようには見えませんわ♥

では失礼して♥

ふう♥やっと腰下ろせますわ♥

立ちっぱなしの上

久々に体を動かしましたのでわたくし汗かいてしまいましたわ♥

この格好...人間界ですとゴシックロリータといいますのでしょうか？

とにかくわたくしこの衣装いたく気に入っているのですが

お世辞にも戦闘向きではありませんの♥

ですから特にスカートの中が蒸れてしまって大変ですの♥

ですがそちらの方がかえってよいのかもしれないわね♥

貴方のような方には特に♥

どうでしょう？わたくしのお尻お気に召していただけますでしょうか？

くれぐれも重いですとか大きいなどとはおっしゃらないでいただきたいですわ♥

気にしておりますので少々傷ついてしまいますの♥

あら♥あら♥うめき声ばかりあげて返答する知性を持ち合わせていらっしゃらないの
でしょうか♥

わたくしが使ってさしあげてますのにお礼くらいおっしゃれないのかしら♥

あぁん♥そんなに口を動かさないでくださいまし♥

くすぐったいですわ♥

んっ...♥んん♥もう♥つくづく礼節を知らないクッションですこと♥

少々礼儀を教えてさしあげる必要がありますそうですね♥

といっても貴方の頭に期待してませんし体から♥

とりわけすっかりお硬くなってるでありますようおちんぽからしつけてさしあげま
すわ♥

ですが...果たしてほんとに硬くしてくださってるのでしょうか？

ここから見ても膨らみがはっきりと視認できませんわ♥

ですからこの変身を解いてくださるかしら？

あら？この状態で逆らいましたらどうなるか♥

踏み心地満載のすかすかの脳みそでもお分かりになりますでしょ？

ね？変身を解いてくださいまし♥

ふふ♥よろしいですわ♥

それにしても♥あらあら♥かわいらしいこと♥

これ元来女性を気持ちよくし孕ませる器官ですわよね♥

それなのに...

くふふふ♥ずいぶんとちんけですわね♥

ここまで小さいと女性を支配するためでなくむしろ女性に虐められたいがために一
生懸命背のびさせてるように見えますわね♥

ふふ♥ほらいまの言葉にもぴくんぴくん必死にお返事♥

かわいいかわいいですこと♥

ではこの虐められたくて虐められたくて仕方のないかわいい生殖器に誰がご主人様
かはっきり躰けてさしあげますわ♥

貴方のおちんぽに今からカンタンなことをさせていただきますわ♥

それはわたくしの質問に対してそのおちんぽちゃんに答えていただきますの♥

はいだったらおちんぽ今みたいにおちんぽちゃんぴくぴくひくつかせてくださるか
しら？

しかしいえでしたらおちんぽを動かさないでくださるかしら？

わかりましたでしょうか？おちんぽちゃん♥

あら？動きがよく見えませんわ♥

もっとしっかり動かしてくださいまし♥

そうそう♥

おちんぽびくびくお上手ですこと♥

では質問させていただきますわ♥

今更お聞きいたしますが貴方がたの目的はわたくしたちを倒すことでありますでしょうか？

あら♥そうでしたの♥

ですのにわたくしに負けてクッションにされてしまった挙句おちんぽでお返事を強要されてるなんて憐れですこと♥

ですが貴方この扱い嫌いではありませんよね♥

ふふ♥我慢しても無駄♥

そうですわよね♥おちんぽびくびくはしたなくて素敵ですわよ♥

でしたら♥わたくしに仕えたらよろしいですのに♥

その方が貴方の幸せではないでしょうか？

必死にこらえてそのおちんぽもいじらしくて素敵ですわ♥

あくまでまだ屈してないとおっしゃりますのね♥

ではこういうのはどうでしょう？

わたくしの陰部の香りこすりつけてさしあげますわ♥

わたくしの香りよくわかるでしょうか？

ふふ♥

わたくしのあそこの香り好きになってくださるかしら？

ふふ♥あら♥さきほどよりおちんぽちゃんが反り返ってますわよ♥

これじゃあまるでわたくしにお辞儀してるように見えますわね♥

おちんちぽのほうはすっかりわたくしに屈したがつているというのにいつまで抵抗する気なのでしょう？

正直に堕ちてしまえば楽ですのに

抵抗する理由がよくわかりませんわ♥

見ず知らずの他人より自分の幸せの方が大事ではないのでしょうか？

わざわざ自らを犠牲になさることはないとわたくしは思うのですがどうなのでしょう？

そもそもどこの誰かが望んでおられるのでしょうか？

むしろ疎まれてるのやもしれませんわよ♥

それよりもわたくしに虐められたいわたくしの下僕になりたいわたくしに気持ちよくしてもらいたいという貴方の思いの方が確かな幸せではなくて？

それを踏まえてもう一度お聞きいたしますわ♥

わたくしの下僕になりませんか？貴方を幸せにしてさしあげますわ♥

(シオンの声がフラッシュバック) シオン⇒「負けないでね♥わたしだけのヒーローさん♥」

あら？ふふ♥これはどういうことでしょう♥

さきほどより抵抗が強まってるではないですか♥

これでは堕ちたとはいえませんわね♥

三度もフラれてしまいましたわ♥

わたくしのことそんなにお嫌いなののでしょうか？

さすがに少し落ち込んでしまいますわ♥

ですが堕としがいがあって退屈しなさそうですわね♥

でしたらお望みどおりさらに段階を踏んで堕としてさしあげますわ♥

まず貴方からはわたくしたちに齒向かう力を奪ってさしあげましょう♥

ねえ？

貴方が手首につけてる時計のようなものそれが変身に不可欠なのですわよね？

ほら♥ちんぽでなんとかおっしやってくださいまし♥

ふふ♥ですわよね♥

でしたらそれをいただきましょうか♥

その変身装置わたくしに譲っていただけませんか？

あら♥ダメですか♥でしたらこういうのはいかがでしょう？

譲っていただけましたらわたくしの足の裏でしごいてさしあげますわ♥

どうでしょう？

すっかり硬くなったおちんぽしごかれてお精子出したいのではなくて？

ですわよね♥

でしたら足コキ...してもいいですわよね？

そのおちんぼの動きは同意とみてよろしいでしょうか？

そうですわよね♥では失礼して♥

うふふ♥どうでしょうか？今貴方の矮小な生殖器を擦り上げてるのは私のきれいで汚れた足の裏でしてよ♥

見えないでしょうからお教えいたしますと今貴方のおちんぼに当たっておりますのはわたくしの土踏まずですわ♥

こうして土踏まずのくぼみでちんちんを包み込みまして♥

上下にシーコシーコ♥

気持ちいいですわよね？

貴方のおちんぼわたくしの土踏まずにぴったりのサイズですわね♥

こういうときちっちゃいおちんぼは便利ですわね♥

やっぱり上位者に弄ってもらうためのおもちゃですわね♥このおちんぼ♥

シーコシーコ♥

わたくしの下僕になりましたら毎日のようにこのような美味しい思いができますのよ♥

少々貴方が下僕となってくださったときのことをお話いたしましょう

朝はわたくしを起こすことから貴方の一日は始まりますの♥

わたくし朝は弱いのですの♥

ですからちょっとやさそとでは起きませんの

その上無意識に周囲のものを殴る蹴るで破壊してしまうみたいですの♥

頑張って起こしてくださいまし♥

わたくしを見事起こすことができましたらわたくしに目覚めのザーメンを振る舞うのです♥

四つん這いになりましてホルスタインのようにおちんちんと睾丸をだらしなくぶら下げてわたくしにこうおねだりいたしますの♥

ミザリア様ぁ〜♥金玉がはち切れそうです♥おちんぼシコシコしますので私の劣等遺伝子食してくださいぁい♥っと

ふふ♥どうでしょうか？

わたくしの下僕になりたくなってきたのではなくて？

しかしプロポーズはしてあげませんことよ♥

なにせ貴方には三回もフラれてしまいましたから♥

下僕となってくださるという確証があるまでしてあげませんし

たとえ今なるとおっしゃっても認めてあげませんわ♥

この足コキはわたくしの下僕になればどれくらい幸せになれるかといういわばお試しですわ♥

さてお話を続けましょうか♥

ずっと同じ扱き方では私も貴方も退屈でしょうから上下はやめて...

このように前後にこすり合わせるように刺激してさしあげますわ♥

朝の1杯を飲み干しましたらお散歩のお時間ですわ♥

貴方の首輪にリードを通して一糸纏わぬ姿で四つん這いになって拠点内を散策いたしますの♥

皆貴方の愛らしい痴態を見ていいこいいこしてくださることでしょう♥

それに対して貴方は媚びた声を上げ涎を垂らし知性を捨てたメスの表情で応えるのです♥

分かっておりますでしょうがもし用を足したくなりましたその場でしていただきますわよ♥

あら♥あら♥

貴方のおちんぽはすでに粗相したくて仕方たまらないようですわね♥

ほら♥聞こえますでしょうか♥この水音♥

ぬちゃぬちゃ甘美で淫靡な音ですこと♥

これ貴方の体から出ておりましてよ♥

もう完全に体はわたくしのものですわね♥

足とは元来汗と土にまみれやすくなる不潔とも言うべき箇所でありますのに...

それを雄の象徴たる箇所でいいようにこねくり回され弄ばれて悦んでしまう貴方が私たちに齒向かい説教する道理などないではありませんか

ふふ♥こう言われるとさらに汁が溢れてしまうとは情けないですわ♥

仮にも人という種族の代表として戦ってるという自負や矜持といったご立派なものは有しておりませんか？

持ち得ないのであれば遠慮なく

持っていても跡形もなく

私の足とお尻で踏みにじってさしあげますわ♥

お散歩から帰りましたら次は食事の時間ですわ♥

貴方方下僕の食事は後回し♪

まずは主人たるわたくしからですわ♥

貴方方はわたくしを乗せる椅子や皿を乗せるテーブルになったりしますの♥

もしこぼしたりなど粗相をしましたら明日の食卓には貴方が乗っていると思ってくださいまし♥

わたくしが食べ終わりましたら次は貴方方の番ですわ♥

悦びなさい♥食事はわたくしの食べ残しですわ♥

それをエサ皿にとりわけまして

わたくしとの間接キスを味わいながらここでも犬らしく四足姿勢で浅ましく食べてくださいまし♥

あらあら♥お口からも涎が垂れているじゃないではありませんか？

わたくしの下着を湿らせるなんてよっぽどわたくしのおこぼれが欲しくてたまらないのですわね♥

犬としての自覚が芽生えつつありますのね♥

良い傾向ですわ♥

ではさらに伸ばして差し上げますわ♥

少々失礼いたしますわ♥

わたくしのお尻の穴つまりアヌスを舐めてくださいますでしょうか？

わたくしのかぐわしくいやらしいアヌスきれいにしてくださいな♥

下僕となる貴方にとってはわたくしの少々汚い部分も受け止め神聖なものとして扱わなくてはなりませんのよ♥

わかりましたらお舐めなさい♥下僕候補さん♥

あぁん♥いいですわ♥わたくしのお尻の香り味堪能なさってくださいな♥

ほら遠慮なさらずにわたくしのアヌスの中に舌をお入れになってください♥

んん...♥そこですわ♥アヌスお舐めになるのお上手ですわね♥

もっとわたくしのあそこほじほじしてくださいまし♥

くっ♥んん♥

そのお返しといっちはなんですが足の方さらに刺激をお強くしてもよろしいでしょうか？

ん？くふふふ♥先ほどから幾度も言っておりますでしょ？

お返事はおちんぽで♥...と

よろしいですわ♥

ではちんぽしごかれながらアヌス舐めに勤しんでくださいまし♥

もういつでも達してしまいそうなおちんちんですわね♥

達するのは構わないのですが貴方は何しにここにいらしたのでしょうか？

まさか私に勝つため？

でしたら冗談も甚だしいですわね♥

貴方が来たのは私に負かされちんちん支配されて搾精されるため...

そうですわよね♥

ほらちんぽでお返事♥

できがわるいですわね♥

下等な人間ですから仕方ありませんわね♥

そんな人間が今まで我が物顔でこの星を闊歩してたなんてお笑い草ですわ♥

そう思いませんか？

思うのなら下等人としてのプライドなど捨てて私のケツ穴舐めなさい♥

ほら穴の中にあるものも丁寧にすくい取ってシワも丁寧に舌先に意識を向けて舐めなさい♥

浅ましくなればなるほど

気持ちよくなると

気持ちよくなると馬鹿になる

馬鹿になるとどうでもよくなる♥

そうですわよね♥

ではおっしゃりなさい

ミザリア様万歳♥と

貴方が下等なゴミであると知らしめたわたくしを崇めるのです♥

わたくしのことが好きなのでしょう？

わたくしに勝てないのでしょうか？

わたくしに命令されたいのでしょうか？

わたくしにイカされたいのでしょうか？

でしたらわたくしを崇め奉りなさい♥♥

ミザリア様万歳と♥

私はその言葉をききたいのですわ♥

ふふ♥まだ小さいですわ♥

もう一度♥

もっと大きく♥

ふふ♥

わたくしの足はお好き？

わたくしの匂いはお好き？

わたくしのお尻の穴はお好き？

ふふ♥でしたら貴方は誰のもの？

そう♥わたくしミザリアのものでしてよ

よろしい♥

では

無様に絶頂なさい♥

わたくしにその忠誠を見せてごらんなさい♥

ミザリア様万歳の言葉とともに絶頂なさい♥

ほらほら♥

イケ♥イケ♥イキ狂いなさい♥

わたくしの可愛い僕

わたくしの忠実な下僕さん♥

(絶頂)

あはははははこうもあっけないと笑いが止まりませんわ♥

見事な噴水♥

下等な人間にぴったり♥

無様ですわー♥

やはり人間の雄はおちんぼで生きてますのね♥

いいですわ♥

好都合ですわ♥

操りやすいことこの上ないですわ♥

この調子ならこの星がわたくしたちのものになるのも時間の問題ですわね♥

私が呼ばれたから何かと思えばたわいもありませんわ♥

さて力の差と下僕の気持ちよさを嫌というほど植え付けたところで改めて貴方にお聞きいたしますわ♥

わたくしの下僕になりませんか？

シオン⇒待ちなさい！

ミザリア⇒あら？いいとこでしたのに？誰ですか？あら？貴方は...確か...

シオン⇒あ...ミ...お前は...

心の声(ミザリアお姉さまではありませんか♥あぁん今日もなんとお美しいのかしら♥あぁん♥またお姉さまにしつけていただきたくて股間がうずちゃう♥でも...今はレッドの前ではフリをしないと)

レッドを離しなさい！

心の声(許してください♥お姉さま♥)

ミザリア⇒ふふ...そういうことだったの...この方貴方のものでしたの？

でしたら堕とさなく正解ですわね♥

別にここで堕ちなくてもどうせ結果は変わらないのでしょうし

このお方をわが物とするのはまた別の機会にいたしましょう♥

ミザリア⇒その代わり...こちらのブルーを手土産に♥

ミザリア⇒そしてかわいい下僕候補さんには置き土産をさしあげますわ♥

ミザリア⇒この魔法は貴方の思考を少し歪める魔法

貴方に信念があればあるほどそれは強く作用することでしょう♥

次お会いするときは美しく歪んだ姿をわたくしにみせてくださいまし♥

ミザリア⇒ではわたくしはこの辺で♥ごきげんよう♥未来の下僕さん♥それとシオンちゃん♥

Chapter3 正義徹底敗戦 傀儡 既に 惨敗

場所：駅前など人が集まる場所

ミ⇒あははは♥もっと乱れなさい♥もっとわたくしに跪き頭を垂れて足をお舐めなさい♥その無様な姿下等な人間にふさわしいですわ♥

シ⇒あはは♥よっわぁ♥なっさっけなあいなぁ♥ここまで弱い生き物は私たちがこき使ってあげてないと可愛そうですね♥お姉さま♥

ミ⇒そうですわね♥ファーネちゃん♥

(駆けつける音)

ミ⇒あら♥貴方はこの前のペットさんではありませんか♥

お早い到着でまたわたくしにもてあそばれにいらっしゃったのかしら？

シ⇒お姉さま違うみたいですよ♥ふふ♥この前あんなにボコボコにされたのにまだ歯向かおうなんて人間ってほんと一度感じた力量差も分からないバカしいなんですね♥

ミ⇒ほんと何度やっても結果は同じというのに懲りない方ですこと♥

あら？そういえば今回もおひとり？この前の貴方を助けてくれた彼女はいらっしゃらないのでしょうか？

シ⇒今頃どこかで貴方そっちのけで誰か知らない男相手によがりちらしてるんじゃない？

あーあ寝取られちゃってかわいそうに♥

シ⇒代わりにわたしたちが相手してあげよっか？

ミ⇒あら♥あんまり怒らないでくださいまし♥

ミ⇒貴方にはそんなお顔よりも先日わたくしに見せた緩み切ったあられもないお顔の方がお似合いでしてよ♥

シ⇒へーわたしもそれみたいなあー♥君のまぬけ面♪ねえ見せてよお〜♪

ミ⇒ファーネちゃんそんなに急かされると緊張してしまって見せてくれませんわ♥

焦らなくとも大丈夫ですわ♥

だってこの方以前わたくしに手も足も出せず負け

見事わたくしの下敷きにされてしまったものね♥

シ⇒うっわはっずー☆そんなことされてまたやられにくるとか絶対マゾじゃん♪あーマゾって言われてちょっと照れてるー☆図星じゃん☆

ミ⇒くふふふふ♥ファーネちゃんあんまりからかってダメよ♪この方恥ずかしがって帰ってしまいますわよ♥

いやしかし...ふふ♥ほんとに負けにきたとしか思えませんね♥

どうやってわたくしたちに勝とうというのでしょうか？

へえー...その立派な短小包茎で...わたくしたちを...倒すと...くくっw

シ⇒ぷっwくくくくっwちんこで倒すとかwww馬鹿すぎwwwしかもあのこどもちんちんでwwwうけるwwwこれお姉さまのかけた魔法のせいですよねw？

ミ⇒くすwそのとおりw

だから笑っちゃダメよファーネちゃんw

彼は今真剣なのですよw

シ⇒真剣だから笑うんですよwww

ミ⇒くっくくwwwそれもそうですわねw

シ⇒一体どんな魔法かけたらあんな醜態さらすようになるんですかw？

ミ⇒私のかけた魔法は欲望が信念を徐々に侵食するもの♥

本来強い信念など持ってる人間など割合多くはないので使ってもさしたる効果はありません♥

ですがあの方は別♥

人類を救うため私達を倒そうとする思いが欲望に乗っ取られ

性欲垂れ流しのおちんぼ気持ちよくするためなら何でもするおちんぼ脳になりつつあるのですわ♥

シ⇒うわーw

じゃあ今自分では正義だと思いこんでやってることは実は全部自分を気持ちよくするためにやってることなんですねーw

うわぁwぶざまーwwwお姉さま趣味よすぎですよーw

ミ⇒人聞きが悪いですわ♥

私もここまで愉快なものになるとは思いませんでしたのw

これも彼のマゾヒズムの賜物ですわね♥

彼のその可愛そうな体質に感謝を込めて丁重に弄んでさしあげますわよ♪

ファーネちゃん♥

シ⇒りょーかいです♪お姉さま♪

シ⇒えーミザリア様まずいですよおー☆

この短小包茎じゃ勝ち目ないですよおー♪

あんなに立派な皮被りちんちん見せられたらどんなメス一発で堕ちちゃいますよー♥

ミ⇒動揺してはダメよファーネちゃん♥

強力な童貞ちんちんといえど勃起させて射精させなければ勝ち目はあるはずよ♥

シ⇒えーでもどうすればいいんですかー？お姉さまー？

あのいかにも誰のおまんこにも入れたことがなさそうな無敵の童貞ちんちんとかすぐ絶頂しちゃう早漏に決まってるじゃないですかー勝てませんよー♥

ミ⇒ファーネちゃん♥

あの方の忠実な部下として背を見せてはなりませんわ♥

勝ち目がなくとも正々堂々と勝負しますのが礼儀ですわ♥

シ⇒んーわかりましたよーあのセックス知らずの無知チンポに勝てるかわかりませんけどーファーネちゃん一生懸命がんばりまーす♪

ミ⇒お見苦しいところをお見せして申し訳ありませんわ♥ヒーローさん♥

貴方と正式な勝負を申し込みますわ

ですから真剣勝負前の礼儀にお付き合いしていただけますでしょうか？

シ⇒そうそう☆真剣勝負の前にすることつっよい君なら分かるよね☆

ミ⇒あら？ご存じでなくて？

でしたら教えてさしあげますわ♥

後ろ向きとなり膝と頭を地面につけまして

空いた両手でお尻を広げて穴をわたくしたちに見せつけるのですわ♥

シ⇒そうそう知ってた？ほんとぉ～？

ミ⇒このポーズをとることで自分の全てをさらし正々堂々気持ちよく戦うことを相手に示すのですわ

シ⇒そうそう♪だから知ったかはいいいからさっさとやってよー☆

ミ⇒ぷっwくくくwふふふw

シ⇒くくくくwウケル...wほんとにやってるwww

ミ⇒くふふふ♥相手に背を向けるなんてヒーローにふさわしい恰好ですわね♥

シ⇒わぁー♥カッコイイい〜♥でもお姉さまー♥お尻の穴がよく見えなくないですかー？

ミ⇒確かによく見えませんわね♥

もしかして...恥じらってるわけではありませんわよね？

シ⇒ええー！？そんな覚悟で私たちと戦うつもりー？それってちょっと失礼すぎない？

ミ⇒敵にアヌスを見せられないような臆病者が私たちに勝てると？

シ⇒敵にお尻の穴見せられない卑怯者が正義語っていいのかなー？

シ⇒くっくくくくwくくくくw

ミ⇒こらwファーネちゃんw笑っちゃだめよwwwくっw失礼よwww

シ⇒でもwくっwお尻の穴こっちにむけて広げて見せつけるのとどっちが失礼かって話ですよwww

ミ・シ⇒ぷっwくっwくくくくwww

ミ⇒ふふ♥ではファーネちゃん♥

せっかくヒーローさんが人類を代表しておっぴろげてくれてますのでなにか言って
さしあげなさい♥

シ⇒りょうかーい♥

シ⇒さすがヒーローさん♥お尻の穴もかっこいいぞー♥つよそー♥

それでーこの穴でわたしたちの攻撃受け止めるんでしょ？すごーい♥

ミ⇒敵である私たちに対しご丁寧にアヌスをさらけ出してくださるとは...

なんと寛大なことでしょう♥わたくし感服いたしますわ♥

シ⇒穴ひくひくさせてるー♥かわいいー♥

そのまゝいつもみたいに名乗ってよー♥

ミ⇒あら♥面白そうですわね♥是非お聞かせくださいませ♥

シ⇒君の場合たしかえーっと...

「ダイナミックハーモニー！ レゾレッド！」

だよね？

一応私たち君を辱めてくれる敵なんだよ？

名乗らないと失礼でしょ？

ミ⇒そうですわ

名乗っていただかなくてはこちらとしても虐めがいがありませんことよ♥

シ⇒じゃあかっこよく名乗ってね♪ヒーローさん♥

シ・ミ⇒きゃー♥こわーい♥私たち負けちゃいますう〜♥

シ⇒こんな格好で自己紹介ってすごくないですかー？お姉さま？

ミ⇒ええ♥私にはとてもできない芸当♥

貴方の英姿に感動いたしましたわ♥

ですので特別に勝負も貴方有利のものにしてさしあげますわ

私達の妨害を耐え抜き見事貴方が立派なマゾ射精を決められましたら

貴方の勝ちにしてさしあげますわ♥

私たちが貴方の射精をお邪魔いたしますのでせいぜい頑張って絶頂に向かわせてく
ださいまし♥

シ⇒えーサービスしすぎですよー♪

そんなことしたら私たち勝ち目ないじゃないですかー♪

だって相手はこの童貞マゾレッドですよー？

絶対射精するに決まってるじゃないですかー♥

ミ⇒誠意を見せていただいたのですから私たちはそれに報いなくてはなりませんわ♥

ファーネちゃん♥

シ⇒って言うてもどうしたらこいつの射精邪魔できるんですか？

今のマゾレッドなら私たちがパンツ見せるだけで射精しちゃうとおもうんですけどー♥

ミ⇒確かにおっぱいなど見せてしまった日には
びゅー♥びゅー♥のびゅるるるー♥

になること必至ですわね♥

シ⇒このままじゃ私たち負けちゃいますよー♥

ミ⇒あっ♥よいことを思いつきましたわ♪

せっかくですしおっぴろげてくれておりますアヌスなど攻めるのはいかががでしようか？

シ⇒あっ♪それいいですー♪

元々気持ちよくなるための穴じゃないですもんねー♥

ミ⇒そう♥

たとえ全身マゾのこの方だとしてもそこは鍛えていらっしゃらないことでしょう♥

ここをほじくり回されたらあまりの不快感で

ちんちん萎え萎えになるに決まってますわ♥

ファーネちゃん♥早速このいやらしいアヌスを責めてさしあげなさい♥

シ⇒はいー了解♪

シ⇒うわぁ♥手袋越しにねばっこい粘液の感触がつたわってきますぅ〜♥

しかもきつきつであったかあい〜♥

こんなにきつきつじゃほぐさないと奥にいけないですよーお姉さまー♥

ミ⇒あらあら♥

ファーネちゃんがてこずってしまうなんて屈強なマゾアヌスをしていらっしゃいますのね♥

ですが...

ふふ♥

声をお聞きする限りやはりアヌスをほじくられて不快に思われてるとお見受けいたしますわ♥

ファーネちゃん♥負けてはダメよ♥ゆっくりほぐしながら♥

そのまま奥を侵略し、この方の絶頂を妨げてさしあげなさい♥

シ⇒お姉様の仰せのままに♥

はあい♥

少しふやけたところで奥へずぶずぶずぶ〜♥

ぬちゃぬちゃぬるぬるいやらしい音たてちゃって

よっぽどお尻の奥に指入れられちゃうの嫌みたいですね♥

しかも蹂躪してるのは君の憎っき敵♥もう絶望的に気持ち悪いよねー♥

はあい♥くちゅくちゅ〜♥ずばずば〜♥

さあて♥

ここで問題今ファーネちゃんが君のお尻の穴で動かしてる指は何指でしょうか？

はあい〜♥

ずぶずぶずぶ〜♥

わかるかなあ〜？

ミ⇒くすっ♥

外したらそうですわね〜？

私の靴でも舐めていただこうかしら？

罰にふさわしい屈辱的な仕打ちでありましょう♥

シ⇒いいですねー♥

くちゅくちゅ〜♥くにくにく〜♥

いい加減この指なにかわかった〜？お答えどうぞレズレッドさん♥

シ⇒ふーん♪

お？

せいかーい♥

さっすがっ♥

ってことでお姉さま♪

どうぞお仕置きしてあげてください♥

ミ⇒では遠慮なく♪

舐めてくださるかしら？

私の足？

あら？

不服そうですわね♥

いかなさいましたでしょうか？

卑怯？

お褒めの言葉有難く頂戴いたしますわ♥

生憎強敵であるあなたに手加減などしてられませんの♥

ですので全力で貴方を射精の遠ざけてさしあげますわ♥

私の汗にまみれの足を舐めれば興ざめなさることでしょう♥

もしかしたら臭いをかくだけで嫌になってしまうかもしれませんわね♥

ほらお嗅ぎになりなさい♥

私の芳しい足♥

ほらこの足の指と指の間とくにこもってますわよ♥

よーくお嗅ぎになりなさい♥

さすがの貴方もこの臭いには敵わないでありますしょう？

シ⇒お尻いじられてミザリア様の足の臭い嗅いでまだ戦意を失わずちんちんおっき
させてるなんてすごーい♥

うんうん地球の調和を守るため負けられないもんねー♥

人類のため私たちを倒すためにマゾ射精決めないとダメだもんねー♥

ミ⇒でしたらできるものなら私たちの責めに見事耐え抜いて正義のマゾ射精とやら
を私たちにを見せてくださいまし♥

ということで匂いがかぐだけでは足りないようですのでそのまま私の足を舐めてく
ださいまし♥

ああ♥そのまま舐めてしまうなんて無礼な方なのでしょう？

違いますでしょ？

舐める前に私のつま先へのキスをするのが礼儀ですわよ♥

敵である私に対してキス♥

しかも唇ではなくつま先にするなんてさぞ屈辱でしょうね♥憎いでしょうか？

悔しいでしょうか？

悔しすぎてその正義のちんちんもしなびてしまいますでしょう？

それでも貴方にそれができますでしょうか？

シ⇒できるんだ♥

お姉様の足にキス♥

しかもおちんちんばっきばっきにさせたままで♪

それ萎えちゃったら君の負けだもんね♥

正義のちんちん私たちに負けちゃダメですよお〜？

正義のマゾ射精なんて絶対させてあげないんだから♥

ミ⇒ふふ♥

あくまでマゾ射精をするとおっしゃるのですね♥

まあ口では何とでも言えますわ♥

でしたらさっさと私の足へ口づけしてくださいまし♥

ミ⇒ふふふ♥

敵である私の足に口づけよくできましたわね♥

それどころかさきほどよりちんこがちがちにさせるとは少々貴方のことを見く
びっていたようですわね♥

褒めてさしあげますわ♥

ですが忘れては困りますがそれは挨拶ですわ♥

さっさと私の汚れてしまった足をなめてくださいまし♥

ふふそうですわ♥

汗や汚れが取れ貴方の唾液で足が湿る感覚♥

悪くはないですわ♥

ちなみにこの足裏特に指の裏あたりが弱点ですわよ♥

よく舐めるとわたくし気持ちよくて負けてしまいますわ♥

ですからあまり舐めないでくださいまし♥

シ⇒もう♥

お姉さまったらそうやって敵に塩送っちゃって〜

その余裕見せる癖なんとかならないんですかぁ〜？

ミ⇒あら？どうせ負かすならお互い正々堂々完膚なく一片の悔いのないように負か
したほうが勝つ方も負ける方も気持ちがよろしいのですわよ♥

シ⇒って言ってもほらー♥

マゾレッドがお姉さまの足の裏を鼻息荒くして舐めてるじゃないですかぁ〜？

このままじゃお姉さまが負けちゃうじゃないですかぁ〜♥

フォローするこっちの身にもなってくださいよお〜

ミ⇒よいではありませんか♥

そこの私を倒そうと丁寧に必死に足をお舐めになってるこの殿方の本気だけではなく

ファーネちゃん。貴方にも本気を出していただきたいのですわ♥

ですのでファーネちゃん♥

この方の射精を全力で阻止してみてくださいまし♥

シ⇒もうお姉さまったらめちゃくちゃですよお〜♥

わかりましたよ〜♥

本気でマゾレッドの惨めなお射精邪魔すればいいんですね♥

お尻ぐりぐりー♥こしょこしょこしょー♥

敵にお尻を指で撫で回されるの不愉快ですよー♥

お尻きゅんきゅん締めつけちゃってそんなに私の指外に出てほしいんですかぁー？

ダメでえす♥

お尻だけじゃなくしてお姉さまの足舐めにも集中しないとお姉さまに負けちゃいますよお〜♥

ミ⇒あぁん♥

くすぐったいですわ♥

貴方の本気は伝わってきますわ♥

おかげで私の指裏が貴方の唾液でふにゃふにゃ♥

ふやけてしまいましたわ♥

これでは使い物にならないですわね♥

貴方の実力認めざるを得ませんわね♥

実を言いますと私爪の間と指の間も弱いのです♥

丁寧に舐められると私少タイってしまいわすの♥

さぞ屈辱的かと思いますが舐められるものなら舐めてくださいませ♥

シ⇒そうはせないよ♥

とっておきのあそこ虐めてあげる♥

ここ♥やっと見つけた♥

ここ押されるとジンジン不思議な感覚でしょ？

変態の君なら男の子しかない部分♥っていえば分かるよね♥

前・立・腺♥

ここをこうして指でこりこりしてあげるとお〜♥

男の子は弱体化♥

弱々の女の子になっちゃうんだよねえ〜♥

コリコリコリコリい〜♥

これでもまだお姉さまの足舐めることに集中できるかな〜♥

ミ⇒ふふ♥

守るべき人類のためですもの集中できますわよね♥

しかしいくら私を弱らせてもとどめがなくては勝てませんわよ♥

そう貴方のおちんぽから放たれる精液それがとどめとなるですわ♥

私の足を舐めお尻はファーネちゃんにほじくられるこの状況で果たしてお射精できるかしら？

しこしこに集中できるのかしら♥

シ⇒あぁん♥

この状況下でも包茎ちんちんバキバキにして

カウパー汁だらだら流して今に射精しそう♥

本気で邪魔してるのにシコシコする手全然止まんないなんてー

この正義ちんぽ強すぎですよぉ〜♥

お姉さまぁ〜♥このままじゃ私たち負けちゃいますよぉ〜♥

ミ⇒ここまでやっても射精しようとするとは想定外の変態ですわ♥

ふふ♥なんとかこの方の射精を阻止しますわよ♥ファーネちゃん♥

シ⇒りょーかい♥

シ⇒レッド様ぁ〜♥ごめんさぁい♥私たちの負けですう〜♥マゾ射精するのやめてくださいよぉ〜♥何でもしますう〜♥

ミ⇒私からもお願いしますわ♥

思う存分足舐めしてもよろしいですから射精をしないでいただけますでしょうか♥

シ⇒前立腺もっとノックしてあげるから私だけでも許してくださいさぁい♥

お願いだから射精しないでえ〜♥

ミ⇒一人だけ助かろうとするのは感心いたしませんわ♥

ねぇ私を助けてくださらないかしら？

助けてくださいましたら反対の足だけでなくお尻も特別に舐めさせてあげますわ♥

シ⇒あぁん♥そういうお姉さまだっけずるい〜♥

マゾレッドは私のご主人様になるんですう〜♥

私も許してくださいあい♥

マゾレッド様のしもべになりますう♥

どうせ僕にするならミザリア様みたいな年増よりぴっちぴっちのファーネちゃんの方がいいに決まってるよね〜♥

ミ⇒ファーネちゃん私を蹴落としてまで命乞いするなんてはしたないですわ♥

シ⇒パンツもおっぱいも見放題見抜きさせたまいますから〜♥お願いしますう〜♥

ミ⇒ですがファーネちゃんのような生娘では貴方を満足などさせることはできませんわ♥

射精をやめて見逃してくださいましたら私と生ハメ交尾していただきますでしょうか♥♥♥

シ⇒ずるうい〜私もレッドとハメハメ生交交尾したいですう〜♥

ミ⇒この方とズコバコハメ交尾するのは私に決まってわすわ♥

ミ・シ⇒だ・か・ら・らぁ〜いっちゃえ♥ばあか♥

(射精音)

ミ・シ⇒ぶっ...くくくwあはははははははははwwww

シ⇒見てえ〜お姉さまほんとに射精してますこのマゾザルw

ミ⇒くくくwww一生懸命の人を笑ってはいけませんわwwwでもこれはwwwくくwwwあまりに滑稽ですわwww

シ⇒ははははははwwwひーwwwお腹いたいwwwこんなの勝てないですうwww

ミ⇒ふふふwww勝てませんわwwwわたくしたちの負けですわwww

シ⇒マゾレッドさあん♥自慢のマゾ射精できてよかったでしゅね〜♪ご自慢のマゾちゃんん気持ちよかったですかぁ〜？

ミ⇒大変おもしろいものを拝見させていただきましたわ♥

お返しに魔法を一時的に解除してさしあげますわ♥

シ⇒ここで解除するとかお姉さま鬼すぎい〜♥

ミ⇒相変わらず人聞きが悪いですわ♥

この方には知る権利というのがありますわ♥

あくまで私はそれを付与して差し上げてるに過ぎないですわ♥

シ⇒さっすがミザリア姉様懐が深いですねえ〜♥

ミ⇒さて惚けてるところ失礼いたしますが一つ貴方にお聞きしてもよろしいでしょうか？

ミ⇒貴方。一体なにしてらっしゃるのかしら？

シ⇒オナニーで私たちを倒せると本気で思ってたのー♥？

本気で射精で私たちに勝てるって信じてたのー♥？

ミ⇒ふふ♥

状況整理ができていない下等な人類の希望さんに現況を教えてさしあげますわ♥

シ⇒わるーいわるーい私たちを倒そうとしたバカマゾの君は正義のぽちん必死にしごいてえ〜♥

ミ⇒私を倒そうと私の足を弱点だと思い込み飢えた犬のように舐めまわし...

シ⇒私にお尻の穴ほじほじされて気持ちよすぎてにつくい敵の前で無様にイキ顔を見せつけてたのが君だよ♥レゾレッドあらためマゾレッド君♥

ミ⇒わたくしの足を舐める姿非常にお似合いでしたわ♥

日常的にやられてたのでありますでしょうか？

シ⇒前立腺コンコンノックされてガチガチに勃起させちゃって

こんなくそ雑魚スイッチもってる雄って可哀そうな生き物ですねえ〜？

お姉さま♥

ミ⇒むしろ幸せではありませんかどんなに不幸でも前立腺を刺激してあげるだけで気持ちよくなれるのですから♥

シ⇒そんなものですかねえ〜？

ところでお姉さまこのバカどうします？

ミ⇒そうですわねえ♥実のところわたくし憤っておりますよ♥

シ⇒んー？なんですか〜？

ミ⇒目の前で汚く粗末な肉棒を見せられた上に気色の悪い顔で私の足を舐めまわされる...。

これを屈辱と呼ばずにいられるでしょうか♥

シ⇒確かにー♥でもでもー♥

それをいうならお姉さまなんてまだいいじゃないですかあ〜♥

私なんてこいつのきったないお尻の穴に指入れさせられたんですよお〜♥

それこそ屈辱ですよお〜♥

ミ⇒でしたら一緒にたっぷりお仕置きして差し上げましょうか？

ファーネちゃん♥

シ⇒はあい♥

段々と子供扱いから赤子扱いへ変化していく

シオンちゃん：一緒になって⇒お尻ほじくった指手袋ごと舐めさせるおしゃぶり

ミザリア様：お尻ペンペン⇒幼児語ちんちんちこちこ

ミ⇒あれだけ力の差を見せつけられながらおろかにも歯向かうだけに飽き足らず

私を辱めるお行儀の悪い子はお尻ぺんぺん♥を以って躡てさしあげますわ♥

ミ⇒あら♥よい音♥

シ⇒やぁん♥お尻ペンペンされてるぅーはずかちー♥

ミ⇒もっとペンペンされながら自身の行いを恥じるとよいですわ♥

ミ⇒痛いですか？ヒーローなのでしょう？我慢できますわよね♥

シ⇒あれえ〜？

そもそもヒーローくんならぁ私たちに勝たないといけないんじゃないじゃなかったっけ〜？

おっかしいなぁ〜♥

なんでお尻ペンペンされてるんでしゅかねえ〜？

ミ⇒わからないようであるならわかるまで叩き込んでさしあげますわ♥

ミ⇒わかりましたら謝ってくださいまし♥

シ⇒そおだよ〜♥私たちの邪魔してごめんさぁい♥って♥はいどうぞ♥

シ⇒よくできました♥これご褒美ね♥

シ⇒あれ？

謝ったらやめと思ったー？

ミ⇒だとしたら反省がまだ足りないですわね♥

ミ⇒お尻ぺーんぺーん♥

悪い子でしゅね〜♥

大人の女性にお尻ペンペンされてお尻を真っ赤にされてはじゅかちいでしゅわねえ〜♥

シ⇒いい子になる？

よっわいレッドきゅん♥

お姉さんたちの邪魔しないって約束できるかな？

ミ⇒そしたら私...いえお姉さんたちがいっぱい可愛がってさしあげますわ♥

ミ⇒いい子になってくださいますか？

シ⇒悪いこともうしない？レッドきゅん？

ミ⇒そうですか♥分かってくださいますか♥

シ⇒お姉さんたちも嬉しいなあ...って...あー！！

レッドきゅんいけないんだあ〜w

ミ⇒どうしたのですファーネちゃん♥

シ⇒見てくださいよお姉さま♥

ミ⇒んー♥あら♥

シ⇒お仕置きされてるのにちんちんおっきくさせてるんですよ〜♥

お仕置きの意味わかってますう〜？

ミ⇒反省するどころかちんちんおっきくさせるしまうとは♥

お仕置きにならないではありませんかw♥

しかもお姉さんたちに嘘をつくなんてほんとに悪い子ですわね♥

シ⇒どちらかというと後者の方がきにいきりませんね♥お姉さま♪

ミ⇒ええ♥

せっかく物分かりの悪い貴方のレベルを落として言ってさしあげたのに伝わらなかったようでお姉さん悲しいですわ♥

シ⇒どうしたらレッドきゅんは反省してくれるのかなあ〜？

お姉さんたち困っちゃうな〜？

ミ⇒仕方がないですわファーネちゃん♥

この子のために更にレベルを落としてさしあげましょう？

シ⇒そうですね♥レッドきゅんは何にもわからない赤ちゃんですからね♥

ミ⇒赤ちゃんに相応しい言葉で以って

悪いちんちんちこちこおちおきしてさしあげましょう♥

シ⇒はあい♥レッドきゅん♥おちんちんちこちこしましょうねえ〜♥

ミ⇒ミザリアママのおててでシコシコされて悪いザーメンシーシーしましょうねえ〜♥

シーコ♥シーコ♥

シ⇒いたいたいとこないでちゅか〜？怖がらないでいいでしゅよお〜♥

ママたちイタイイタイことしまちえんからねえ〜？

シーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

ミ⇒シーコ♥シーコ♥

気持ちいいでしゅね〜？

ママたちはー♥

このきもちいいをきもちいいをー♥

世界中の赤ちゃんたちにおちえてるんでちゅよ？

シ⇒だからじゃましちゃめーですよ〜♥

おじゃましちゃうわるいこにはー♥

ちーこ♥ちーこ♥おあずけでしゅからねえ〜♥

ミ⇒僕ちゃんはあー♥

ママたちにちーこ♥ちーこ♥されたいでしゅよねえ〜♥

シ⇒じゃあママたちのじゃまちない？

ミ⇒よくいえまちたね〜♥えらいえらい♥

ファーネちゃんご褒美におしゃぶりしてあげなさい♥

シ⇒わかりまちたー♥

僕ちゃんいい子にちてくれるみたいだからママがおしゃぶりのご褒美ちてあげる〜♥

ママの細くてやわらかーいおゆびちゅばちゅばちまちょうねえ〜♥

ミ⇒ファーネママのゆびおいちい？僕ちゃん♥

舐め始めてからぼくちゃんのぞうさん♥

ますますばおーんしちゃってまちゅよお〜♥

元気なぞうちゃんできゅねえ〜♥

ぞうさんのさっきぽからよだれだらだら垂れて食いしん坊できゅね〜♥

シ⇒ちゅーば♥ちゅーば♥

舐めるほどどんどんママのことちゅきになってきまちゅね〜♥

いいこできゅね〜♥

でもちゅばちゅば吸うだけでもいいんでちゅけどお〜♥

僕ちゃんのべろべろでえ〜ママのおゆびなめなめちまちょうねえ〜♥

ママも僕ちゃんのべろべろいいこいいこちてあげまちゅねえ〜♥

ミ⇒ママがずーっと僕ちゃんのこと可愛がってあげまちゅからあ〜♥

これが終わるまちたらママたちと一緒におうちにかえりまちょうねえ〜♥

シ⇒だいじょうぶできゅよお〜♥こわいこわいちまちゃんよお〜♥

いまのちこちこをもっときもちよくなることちてあげまちゅから今はただちゅばちゅばしてえ〜♥

ミ⇒ちんちんちこちこされてえ〜♥

おちっこびゅーびゅーちまちょうねえ〜♥

シ⇒いつでもびゅーびゅーちてもいいんでちゅよお〜♥

ミ⇒ママたちがぜんえんぶうけてあげまぢゅからあ〜♥

ママたちの前でしかできないはじゅかちい顔ちてー♥

なさけなくいっチャいまちょうねえ〜♥

シ⇒ちゅば♥ちゅば♥

ミ⇒ちこ♥ちこ♥

シ⇒ちゅば♥ちゅば♥

ミ⇒ちこ♥ちこ♥

シ⇒ちゅば♥ちゅば♥

ミ⇒ちこ♥ちこ♥

シ⇒いっチャえ♥

ミ⇒いっチャえ♥

シ⇒いっチャえ♥

ミ⇒いっチャえ♥

シ⇒いっチャえ♥

ミ⇒いっチャえ♥

シ⇒ママたちの赤ちゃん♥

ミ⇒ママたちだけの赤ちゃん♥

シ・ミ⇒まけチャえざーこ♥

(射精音)

シ⇒くふふwwwミザリア様みてくださいよwww

このバカまたアホ面さらしていっチャってますよお〜♥

ミ⇒ほんと何度さらせば気が済むのでしょうか♥

ミ⇒びゅーびゅーきもちいいでちゅかあ〜？僕ちゃん♥

シ⇒きもちいいでちゅねえ〜♥

敵に赤ちゃん扱いされていかされちゃうなんてえ〜♥

マゾな僕ちゃんにはたまらないでちゅもんねえ〜♥

ミ⇒ママたちには到底勝てないってことはわかってくれまちたかあ〜♥？

シ⇒わかりまちたよねえ〜♥

ここまでばかりにされて負けちゃいまちたもんねえ〜♥

ミ⇒ファーネちゃん♥おしゃぶり変わってもらえるかしら♥

シ⇒よろこんでえ〜♥

このバカに指舐めさせるとか気持ち悪かったんではやく止めたかったんですよお〜♥

ミ⇒はあい僕ちゃん♥

自分の無駄打ちしたザーメンがママのおててにかかっちゃってまちゅから自分で責任とってなめなめちてくだちゃーい♥

シ⇒おいちいでちゅかぁ〜自分のザーメン♥

ミ⇒おいちいでちゅよねえ〜♥うまうまでちゅよねえ〜♥

シ⇒じゃあそれ舐め終わったらさっき言った通りママたちのおうちにいきまちょうねえ〜？

ミ⇒いやがったらぁ〜♥おちおきでちゅからねえ〜♥

シ⇒いまみたいなきもちいいのじゃなくてえ〜♥

いたいいたーいおちおきでちゅからてーこうしちゃだめでちゅよお〜♥

ミ⇒わかりちまちたか？僕ちゃん？

シ⇒うーんいいこ♥いいこ♥

ところでこいつ拉致したらどうするんですかお姉さま？

ミ⇒くすっw仕上げをしてさしあげますわ♥ファーネちゃん♥

シ⇒じゃあ♪

ミ⇒そうですわ♥ファーネちゃん頑張ってくださいましたからね♥

私の方からあの方へ褒美を取らせるようお願いしてさしあげますわ♥

シ⇒お姉さまありがとうございますう♥

あっちょうど舐め終わったみたいですよこいつ♥

ミ⇒では連れて行って差し上げましょうか♥

少々手荒ですが今しばらくお眠りになってくださいまし♥

目が覚めるまでごきげんよう♥

Chapter4 淫欲のジレンマ dilemma of libido

ミ⇒あら♥ようやくお目覚めですか？おはようございます♥

ああん♥

まだ襲い掛かる元気がおありですね♥

そうでなくは面白くありませんわ♥

ですが...

暴れられるとお話しができませんので少々お黙りになってくださいまし♥

面倒ですので手足を拘束させていただきますわ♥

さてこれでようやくお話しができますわ♥

ですがなにからお話しいたしましょうか？

ここですか？

ここは私たち...いえママたちの本拠地ですわ♥

あら？

あれほど私をママと慕っておいりましたのに反抗期でありましょうか？

倒すやらなんやら次から次へとなんと高圧的な言葉数々...

言うのは構いませんが

果たしてそんな反抗的でよろしいのでしょうか？

くすw

実はもう一名貴方のお仲間を捕虜としておりましてよ♥

嘘ではありませんわ

その証拠に声を聞かせてさしあげますわ♥

シ⇒レッド！レッドいるの？！

ミ⇒シオンとおっしゃいましたかね♥

あなたのお仲間でお間違いないですわよね？

答えてさしあげてはいかがでしょうか？

つないでさしあげますわ♥

シ⇒レッド！！

よかった生きていたのね！！大丈夫？え？私？私は大丈夫よ！

でも...拘束されて身動きが...

でも...今は貴方が生きててよかった...

いつまでもあなたが戻ってこないから心配で心配で...

居ても立っても居られなくて貴方を探しに油断して気づいたらここに捕らえられていたの...

ごめんあなたを救うはずがこんなことになってしまうなんて...

ごめんなんて...貴方まで謝らないで...

それにしても...ふふw

謝るなんてあなたにしては随分しおらしいじゃない

もしかしてもうあきらめてる？

だったら見損なうわよ！

わたしの大好きなヒーローはこのくらいの逆境なんてことないでしょ！

あなたがあきらめない限りわたしも絶対にあきらめない！

ううん...あなたがあきらめたとしても私は最後まであきらめないわよ！

いい？レッド？

だから今は耐えて必ずここから脱出するわよ？

どうやってって...忘れてない？私がここから一回逃げてるの。

できないわけないでしょ♥

あなたと二人ならきっとできるわ！

だから今は頑張るわよ♥

わたしだけのヒーローさん♥

ミ⇒くすw敵前ですのによくもまあ...お熱いことで...

シ⇒ミザリア！あなたの好きにはさせないわ！！

ミ⇒そろいもそろって減らず口を...

先ほども言いましたが言うの自由なのですが...

貴方がたの生殺与奪は私にあるということをお忘れになってはいけませんわ♥

シ⇒くっ！！

ミ⇒ご理解いただき感謝いたしますわ♥

シ⇒私たちをどうする気？！

ミ⇒まあ焦らないでくださいまし♥

今から説明いたしますわ♥

貴方がたには今から私たちに仕えてもらいますわ♥

シ⇒誰があなたたちなんかに！！

ミ⇒まゝ予想通りの反応再度感謝いたしますわ♥

なれと言われてなる貴方がたでないことくらい私重々承知しておりますわ？

ですからこういうのはいかがでしょう？

ミ⇒ジュルチュパッジュルジュルチュパッ♥

ミ⇒ぷはっ♥あちらの方も入ったでしょうか？

シ⇒くはっ...何を飲ませた！

ミ⇒いまあなたがたに飲ませたのは「ディスラプトメディック」という私の魔力を配合させた特別なお薬でして効果が二つございますの♥

一つ目は摂取してから一定時間の間性的興奮を高めること

二つ目はその制限時間内に性的絶頂に至ると脳の神経細胞を大きく変容させて私たちへの反抗心の思いを逆転させ私たちへの服従心へと変えることができる素晴らしい薬ですわ♥

シ⇒くっ薬で人の思いをゆがめるなんてなんて卑怯な！

ミ⇒むしろ感謝していただきたいですわ♥

苦しまずに私たちへの奉仕のすばらしさを得ることができるのですから♥

ですがこの薬いいことばかりではありませんの...

先ほども言いましたとおり一定時間内に性的絶頂へ辿りつかなくては効力を発揮しないのですわ♥

そして一度飲ませると体に免疫ができるみたいでして二度め以降は効き目がなくなってしまうみたいですの♥

シ⇒じゃあそれまで我慢すればいいってことねかしら？

ミ⇒さよう。ざっと45分といったところでしょうか？個人差がありますゆえ正確にというわけには参りませんが...

シ⇒んで今から私たちにそれまでの時間の間なにかしようってわけ？

ミ⇒お話が早くて助かりますわ♥

いまから貴方方二人には性的絶頂にいたるように快楽責めをしてさしあげますわ♥

そしてもし30分弱の間絶頂に至らなければもう貴方自身ではなくお仲間の方を解放してさしあげますわ♥

シ⇒つまり...私が絶頂しなければ...レッドが助かるってことかしら？

ミ⇒さよう。貴方がたが助け合いをモットーしていらっしゃるようなのでそのようなルールを今回ご用意させていただきましたわ♥

シ⇒ほんと下種の考えることね！

ミ⇒あら？親切からこのようにしたのですがそのように言われるのは心外ですわ♥

シ⇒でも...薬を飲まされた以上選択肢はないわね...でもミザリア一ついいかしら？

ミ⇒为什么呢？

シ⇒あなたの言ってることが全て正しくて、約束も守るという保証はどこにもないわ。今まで言ったことに嘘はないわよね？

ミ⇒確かにそうですわね♥

しかし一つ確かなことを述べさせていただきますとこんなことで嘘を言ってもどうしようもないと思っておりますわ♥

シ⇒それはどういう...？

ミ⇒つまりこの条件でも私たちの勝利は揺るがないということですわ♥

シ⇒言ってくれるじゃない！いいわ！

私はこの乗るわどっちにしてもこの状況じゃあどうしようもないわけだし...

ミ⇒ご理解感謝いたしますわ♥では貴方はどうします？

貴方がここで断れば貴方の命はもちろんのことシオンさんももう助けることができなくなりますわよ♥

どうしますヒーローさん♥

シ⇒お願いレッド！！

ミ⇒よろしい♥では時間も差し迫っておりますしいきますわよ♥あっそうでした♥このあなたとシオンさんの音声は一時切断させていただきますわ♥

シ⇒くっ...

ミ⇒ですので最後に一言いいたいことはありますでしょうか？

シ⇒私は大丈夫よ♥たった一時間足らずの時間よゆうで耐えてみせるわ♥だからあなたもしっかり耐えてよね♥そして二人でここを逃げましょ？世界で一番愛してるわヒーローさん♥

ミ⇒お熱いとこ申し訳ありません。

何分制限時間を設けてしまいましたので♥

また私の裁量次第ですが定期的に彼女のお声を届けてさしあげますわ♥

ミ⇒では心の準備はいかがでしょう？できなくても参りますわ♥

ここまで前座なのでパートを分ける

4-2

頑張って耐えて彼女を助けてあげてくださいまし♥ヒーローさん♥

さてまずはどこから責めてさしあげましょうか？

ふーーーーーっ

敏感なお耳かしら？

それとも

欲しがり屋さんのお口？

感度十分のビンビン乳首にい～

いきなり大本命の包茎おちんちんというのも悪くないですわね♥

はたまた大穴の卑しいアナルかしら？

どこもおいしいそうで涎が出てきてしまいますわぁ～♥

まずはこのかわいらしいお耳と物欲しそうにしてる乳首からいただきますでしょうか♥

じゅるじゅるる♥乳首の力加減いかがでしょうか♥

限りなくソフトにして差し上げておりますゆえ

ゆえ触られてる感覚がないかもしれませんのでお聞きいたしましたわ♥

もどかしいという意見でしたら聞き入れませんわ♥

それはわざとですので♥

乳首をなーで♥なーで♥なーで♥なーで♥

耳をぺえーろ♥ぺえーろ♥ぺえーろ♥ぺえーろ♥

おら♥

乳首がかわいくぼつきしてますわ♥

虐めてほしくておはようしてきまいたのね♥

ではお望み通り虐めて差し上げますわ♥

乳首をつーん♥つーん♥

耳をぺえーろ♥ぺえーろ♥

貴方を幸せで満たして差し上げますわ♥

すっかりとろけきった顔♥

それでは私に負けてしまいますわよ♥

もっと頑張ってくださいまし♥

ほら彼女の声を聞いて気合入れなおしてくださいまし♥

シ⇒んっ...あっ...レッド...こえっ♥...きこえる?♥はぁはぁはぁ♥うん...♥私はまだ...んっ♥大丈夫♥あぁん♥だめ...♥だっ♥だいじょうぶだからぁ♥がんばっ...はぁん♥って♥わたし...まけっ...ないからぁ♥はぁぁん♥

ミ⇒彼女精一杯頑張っているようですわね♥

ここで負けてしまっは男の名が廃るというものですわ♥

まぁ乳首弄られて感じてる方が男かは甚だ疑問ではありますが♥

それでは続きの方いたしましょうか?

っとそういえば乳首も耳も片方では少々物足りないではありませんこと?

いっそ両方してほしいですわよね?

いらなとおっしゃっても私は慈悲に溢れておりますのでしてさしあげますわ♥

ミ1・ミ2⇒はぁい♥ヒーローちゃん♥

ミ1⇒何を驚いておりますでしょうか?

分身を作り出すことくらい造作ありませんわ♥

ミ2⇒僕ちゃんをいっぱい甘やかしてあげまちゅからぁ〜♥

覚悟ちてくだちゃいねえ〜♥

まずはお耳なめなめちて〜乳首つん♥つん♥してあげまちゅねえ〜♥

ミ1・ミ2⇒あーん♥

ミ2⇒ママのべろなめどうでちゅかぁ〜♥とろけちゃいまちゅかぁ〜♥

ミ1⇒とろけっきた顔をなされると私も興奮してきますわ♥

ミ2⇒ちくびつんつんされるたびにびくん♥びくん♥かわいでちゅねえ〜♥

ミ1⇒ですがまだ乳首への刺激物足りないみたいですわね♥

ミ2⇒だったらちくびつんつんやめてえ〜♥

ちくびこーり♥こーり♥してあげまちゅねえ〜

ミ1⇒はぁぁぁぁぁ♥

そのメス顔♥ぞくぞくしますわ♥もっとみせてくださいまし♥

ミ2⇒レロレロレロお〜♥

ちくびもおみもよわーいよわーいでちゅねえ〜♥

ミ1⇒ちくびこーり♥こーり♥

ミ2⇒おみみレーロ♥レーロ♥

ミ1⇒おみみペーろ♥ペーろ♥

ミ2⇒ちくびつーね♥つーね♥

ミ1⇒まだ時間ありましてよ♥

こんなところで負けてはつまらないですわ♥

ミ2⇒僕ちゃんはママにはかてまちなもんねえ〜♥

てーこうちてもむだでちゅからあ〜♥さっさと負けちゃいまちようねえ〜♥

ミ1⇒でも彼女のことは気になりますよね♥

イってしまったら最後♥

彼女は助からないどころか彼女の努力まで無駄にしていしまいますものね♥

ミ2⇒でもお〜ママにこうしてペロペロペロペロずっとされてたいでちゅよねえ〜♥

彼女なんてほっておいてえ〜♥

ママとイ・イ・こ・と♥ずっとしてまちょうっねえ〜♥

ミ1⇒さてそろそろこちらに手を出すといたしましょうか♥

ミ2⇒お・ち・ん・ち・ん♥

ミ1⇒小さいなりにすっかり大きくしてかわいいですわね♥

ミ2⇒ママたちが一度触ったら最後♥

よっわーい僕ちゃんのおちんちんはママたちのおててに負けて

そっこーびゅー♥びゅー♥確定でちゅよねえ〜♥

ミ1⇒触って欲しいですかあ〜？

ミ2⇒触ってほちいでちゅよねえ〜♥

ミ1⇒ですがその前に彼女の様子でも聞いてみましょうか♥

シ⇒んん♥ああん♥

いっちゃう♥ダメえ♥

んあ♥っ♥まだいかない...♥からっ♥

はあはあ♥レッドだけ...♥んんん♥でもお...♥ああん♥わたしがああああっん♥ま
あもるんだからああ♥ああん♥だめえええええ♥

ミ1⇒健気なこと♥ぎりぎりなのにまだ貴方を救おうとしてますわ♥素敵な彼女をお
持ちで幸せ者ですわね貴方♥彼女に免じてシコシコは一旦お預け♥

ミ2⇒ちこちこ手コキの代わりにい〜♥

ママたち二人でエア手コキちてあげるう〜♥

ミ1⇒私と♥

ミ2⇒ママの〜♥

ミ1⇒人差し指と♥

ミ2⇒親指合わせてえ〜♥

ミ1・ミ2⇒ハートマークおまんこ♥

ミ2⇒このハートマークのおてておまんこを〜♥

ミ1⇒おちんちんに♥

ミ2⇒いれちゃいまあす♥

ミ1・ミ2⇒しーこ♥しーこ♥しーこ♥しーこ♥

ミ1⇒手コキではありませんのでまさかとは思いますがこれでは絶頂しませんわよね♥

ミ2⇒ママたちのハートおまんこの中きもちいいでちゅかあ〜♥

ミ1・ミ2⇒しーこ♥しーこ♥しーこ♥しーこ♥

ミ1⇒辛そうなお顔をしていらっしますわね♥

まだ悩んでおられるのでしょうか？

ミ2⇒ママたちは僕ちゃんからあ〜♥

ママたちのものになりたいでちゅう〜♥

という言葉を知りたいでちゅよお〜♥

ミ1⇒それさえ認めてしまえばこんな辛い思いなんか二度とする必要ないのですわ♥

ミ2⇒一生ママたちに尽くしてきもちいいことばかりになるんでちゅよお〜♥

ミ1⇒こうしてエア手コキではなくて♥

ミ2⇒ママたちに生手コキちてもらえるでちゅよお〜♥

ミ1・ミ2⇒しーこ♥しーこ♥しーこ♥しーこ♥

ミ1⇒全て捨てて快感に身を委ねてはいかがでしょう？

ミ2⇒ママたちと一緒にいきましょ？

ミ1⇒私たちと共にする未来、選んでいただけないでしょうか？

ミ2⇒おねがい僕ちゃん♥

ミ1⇒お願いいたします♥ヒーローさん♥

ミ1⇒んー...ダメですわね♥まだ、葛藤があるようですわね♥

もはやさすがという他ありませんわ♥

ミ2⇒僕ちゃんのこともっと好きになっちゃったなあ〜♥

ミ1⇒でしたら...

茶番はここまでにいたしましょう♥

分身も消してさしあげますわ♥

もっとしてほしそうなトロけた表情と呆けた顔が入り混じって少々面白い面持ちですわね♥

ところで...彼女は今どうしておりますでしょうか？

シ⇒んんっ♥ダメえ〜♥あとすこしい〜♥あと少しでえ〜♥

ミ⇒相変わらず頑張ってるようですわね♥

ですが少し疑問に思いませんか？

なにがって貴方のお相手は私が引き受けております。

では彼女のご相手は誰なのでしょう？

わたくしの分身？違いますわ♥

わからないようですわね♥ではさっさと答え合わせといきましょうか？

もう演技は結構ですわよ♥思いつき狂いなさい♥

ファーネちゃん♥

シ⇒お姉さま♥ありがとうございますううううううおっ"お"っ

お"お"お"お"お"お"お"お"お"お"お"お"♥♥♥ご主人さま"の

お"ち"ん"ち"ん"ん"ん"ん"ん"ん"ん"ん"き"も"ち"い"い"い"い"♥♥♥♥♥お"っい"ぐ♥♥♥♥♥

ミ⇒気持ちのよい狂いかたですわね♥

お分かりで？貴方の彼女はとくに墜ちてましたの♥

いまお相手してるのは私たちのご主人様ですわ♥

ふふ♥その顔最高にぞくぞくいたしますわ♥

あぁん♥私ちょっとイってしまいましたわ♥

葉のせい？いいえ違いますわ♥

貴方がたのアジトに戻る頃には既に完墜ち済みでしたの♥

貴方を墮とすためにファーネちゃんにはスパイとして動いていただいたのですわ♥

絶望してらっしゃいますでしょうか？

すごいいい顔しておりますわ♥ではもっと絶望させてさしあげましょう♥

ファーネちゃん♥あなたは先ほどまで何をしていらっしゃったのですか？

ミ⇒ですって♥もうマゾおちんちんもいい加減限界でありますよ...ほんとは今すぐにでも私にこすりあげられたいのにここまでよく耐えましたわ♥大丈夫頑張ったんですから誰も貴方を咎めませんわ♥それに貴方一人が裏切ろうと世界は変わりませんわ♥でしたらご自身の幸せを求めても...おちんちんシコシコドピュドピュピュピュシコ抜きしてもよいではありませんか♥

さてこれで何度目になるでしょうか？もう逃しませんわ♥ようやく言えますわ♥

ヒーローさん♥

いや憐れで悩めるか弱き子羊さん♥

貴方は病めるときも健やかなるときいついかなる時も♥

私を主人として愛し、尽くし、ひれ伏すことを私に誓っていただけますでしょうか？

よろしい♥私と誓いの唾液交換してくださいまし♥下僕さん♥

では下僕さんに最初の命令♥

その下僕おちんちんどうして欲しいか私にどうしてほしいか聞かせて頂戴♥

はいどうぞ♥

よく言えましたー♥えらいでちゅね〜♥もう一回チューしてさしあげますわ♥

ではお望み通り手コキしてさしあげますわ♥

全て忘れてイってくださいまし♥

ようやくわたくしの手に堕ちてくださいましたね♥

その分目いっぱい可愛がって差し上げますわ♥

ずぼずぼ♥ずぼずぼ♥

わたくしのおててまんこやわらかすべすべきもちいいでしょうか？

そう♥

でしたらもっとおててまんこで貴方を犯してさしあげますわ♥

ずぼずぼ♥しこしこ♥ずぼずぼ♥しこしこ♥

じゅうう...ジュルルルル♥んえ...♥(涎を溜めてちんちんにたらす音)

私の涎を足すとふわふわおてておまんこがもっとじゅるじゅるおまんこに早変わり♥

私の涎のお味はいかかでしょうか？あら？おちんちんだけでなく上のお口も欲しいのですか？では三度唾液交換と参りましょうか♥

上も下も私の味を覚えてしまいましたわね♥

病みつきですわね♥

もう他の女性の味では満足できないでありますわ♥

まあ知る必要もありませんわね♥

貴方には私さえいればいいんですもの♥

世界より自分♥自分より私♥そうですわよね♥

よろしい♥では上も下もそして横も私の味を馴染ませてさしあげますわ♥

よく堪能してくださいまし♥

ミ2⇒ママたちに挟まれてもみくちゃんにされて幸せでちゅね〜♥

ミ1⇒負けたくても負けられず素直に生きられず辛かったでありますわ♥

その分貴方には幸せになってもらいますわ♥

ミ2⇒でもさっきまでずっと我慢してたからもうでそうでちゅね〜♥いいですよ
ママのおててにびゅーびゅー♥びゅるびゅるしまちようね〜♥

ミ1⇒そうですわね♥さっさと出さないと薬の効力が切れてしまいますわね♥まあ今
更その必要もなさそうですが♥この際もっと私に染められたいですわよね♥

ミ2⇒もっとママたちのものになりたいでちゅよねえ〜♥

ミ1⇒では次の命令です下僕さん♥

ミ2⇒いっぱいいっぱい

ミ1⇒気持ちよくなって

ミ2⇒思う存分♥

ミ1⇒堕ちてくださいまし♥

↑↓同時に

ミ2⇒堕ちまちようね〜♥

(バックにファーネちゃんの声)

ミ1⇒10♥

私たちのお手コキがあまりに気持ちよいからといってもこのカウントダウンより早く
くに出してはいけませんわよ♥

ミ2⇒今出すのもきもちいいでちゅけどママたちの指示に合わせて出すのはもっと
きもちいいでちゅよお〜だから0になるまで我慢ちまちようねえ〜♥9♥

ミ1⇒そういえば先ほどからファーネちゃんの声流して差し上げておりますが彼女の
普段凛とした姿に似つかわしくないお下劣な喘ぎ声堪能いただけておりますでし
ょうか？

ミ2⇒彼女がご主人様に取られてマゾおちんちんが一ゆるさないぞお〜♥

でもこの子供ちんちんじゃああんなに気持ちよくさせられないよお〜♥

勝てないよお〜♥くやちいよお〜♥っておっきしちゃうでちゅよねえ〜♥

ミ1⇒ですが少々勘違いしておられますが貴方の彼女となる前から彼女はご主人様
のものですわ♥

貴方は遊ばれてるにすぎなかったのですわ♥

つまりハナから負け犬確定でしたの♥は一ち♥

ミ2⇒ずっと手のひら転がされ赤子扱いの負けっぱなしでくやちいでちゅかぁ〜♥くやちいでちゅよねぇ〜♥くやちいからうれちいでちょうかねえ？

ミ1⇒それともうれしいからくやしいのでしょうか？

ミ2⇒またまたうれちくてくやちいのか？もうわかりまちなぁ〜♥

わからなくてもいいでちゅよぉ〜♥

だって僕ちゃんにはママがいまちゅもんねぇ〜♥だからちこちこ早くちまちゅね〜♥な〜な♥

ミ1⇒手コキ早くしてさしあげましたが気持ちよいでしょうか？

ミ2⇒気持ちよかったら声だちておちえてくだちゃいねぇ〜♥ろーく♥

ミ1⇒そうですわ♥もっと下品にもっとお下劣に♥

くす♥よい手本がそばにいるではありませんか？ね？ファーネちゃん♥

シ⇒お”っ”おちんちんさまにひびくようにいいいいお下品なこえだじでまずうううううっおっもとなかにだじでください”いいいいいごしゅじんざまあああああ♥♥♥♥♥

ミ1⇒あれをお手本に声出してみましようか？どうぞ♥

シ⇒お”っお”っお”っごりごりごりいいいいいいあっ♥あっ♥いやじいめすぶたおなほーるをつかっていただけるようにいいいいもっこびますうううううおちんばさまぁ♥

ミ2⇒あはははwおじょうずでちゅねぇ〜♥

ミ1⇒くすw二人とも知性とはかけ離れたお姿よくお似合いですわ♥

必死に私たちに歯向かうより本能丸出しで私たちに従う方がいきいきしてますわよ♥

シ⇒ありがとうございますううううううおれいにぎーめんぶたあなにそそいでくださいいいいいいい♥♥♥

ミ2⇒お姉ちゃんがお礼してるんでちゅから僕ちゃんもお礼しなきゃメっでちゅよぉ〜♥

ミ1⇒じゃないとカウントダウン進めてあげませんわよ♥

ミ1・ミ2⇒さんはい♥

ミ1・ミ2⇒どういたしまして♥5♥

ミ1⇒やっと折り返しといったところでしょうか？いまにもきんたまからおちんちんのくだ精管から濃くてくっさいザー汁どくどくびゅるびゅるしてしまいそうでしょうか？

ミ2⇒でもまだダメでちゅよぉ〜♥

もう僕ちゃんはもうママのものなんですからママの言う通りだちまちょうねえ～
♥4♥

ミ1⇒想像してくださいまし♥わたくしたちの「0」という言葉と同時にいくときの解放感充実感を♥くすwいま0って言われて出しそうになりましたでしょ？

ミ2⇒それはもうママに逆らえなくなっちゃったあかちでちゅよお～♥

ミ1⇒今でさえこれですのに見事イクことができましたら薬で私への忠誠がさらに強固にゆるぎないものとなり私を神と見紛うことでしょう♥

ミ2⇒するとどうなるかわかりまちゅかぁ～♥

ミ1⇒私が貴方に指示されるだけで貴方は勃起し涎をたらしてちんちんがきゅんきゅんしてしまうのです♥

ミ2⇒それだけじゃなくてこのようにママに...

イケ！バカマゾ！

って罵られてもきもちいいきもちいいってなっちゃうんでちゅよお～♥

ミ1⇒あら？いまでも感じておりますの？よくできたバカマゾですわね♥

褒めてさしあげますわ♥このマゾ豚♥

ミ2⇒さーん♥

ミ1⇒シコシコ最高速にしてさしあげますわ♥

ミ2⇒まだ我慢できまちゅよねえ～♥

ミ1⇒金玉にしたためたザーメンまだ出してはいけませんわ♥私の下僕となるならこれくらい我慢してくださいまし♥

ミ2⇒他の下僕ちゃんよりいっぱい命令ちてあげてママといっしょにいられるんでちゅよお～だからもうすこちだけががんばりまちょうねえ～♥

ミ1⇒2♥

あと少しで辛かった日々からサヨナラできますのよ♥

ミ2⇒勝手に人間さんの期待を背負い背負わされよわーい人間さんのために傷ついて辛かったでちゅね～♥

ミ1⇒でもそれも今日までこの射精で貴方は生まれ変わるのですわ♥

ミ2⇒それは自分の幸せのためだけにママに尽くす人生でなんでちゅよお～♥

素晴らしいでちゅねえ～♥

ミ1⇒貴方の運命は私に操られ気持ちよくなることなのです♥

~~この星を守ることは貴方の使命ではありませんの♥~~

~~この星もあの方の手中にあるべきもの。~~

~~貴方の運命は私に操られ気持ちよくなることですの♥~~

ミ2⇒だからママに僕ちゃんの赤ちゃんミルク見せてくだちゃいねえ〜♥

ミ1⇒1♥ここまでよく我慢できましたわね♥

ミ2⇒赤ちゃんミルクびゅーびゅーびゅるびゅるのお準備できまちたかぁ〜♥

(ここまで舐めながら)

ミ1では記念ですのでファーネちゃんと一緒にアクメ決めてくださいまし♥

シ⇒い"ぐう"う"う"う"う"おっ♥やべっお"っ"♥お"っ"♥

ミ1⇒あらあらwまだいってはダメですよ♥下等なマゾ豚同士仲良くいきなさい♥

シ⇒わ"か"り"ま"し"た"あ"♥ん"ほ"っ"マゾレッド♥

はあはあ...いっしょいこ？

~~アタ"メ"面晒して♥お"っ"♥お"っ"っ"♥おおおおお♥~~

~~ごしゅじんさまにみてもらおうね♥~~

私のお♥...はあ♥はあ♥ーローさん♥

お"お"お"お"お"ん♥ん"ほ"お"お"♥うそです"う"う"う"う"♥

ごしゅじんさまの方がいいにきまってますううう♥

私のヒーローはご主人様だけですううう♥

あ"っ"お"っ"お"お"お"い"ぐう"う"う"う"う"う"う"う"♥

ミ1⇒あらあらw言ってることがめちゃくちゃね♥

ミ2⇒僕ちゃんもあれくらいおまぬけになってくだちゃいねえ〜♥

ミ1⇒ではいきますわよ♥

ミ1・ミ2⇒せーの♥0♥

シ⇒ゼロゼロゼロおおお〜♥

いぐいぐいぐうううう♥

ふごっ♥ふごっ♥

ごしゅじんさまのまえでぶざまなアクメ顔き"め"ま"す"うううう♥

あ"へ"え"♥

ご主人様のザーメンがぶたオナホにはい"っ"で"る"う"う"う♥

しゅきいい♥ぜったいこのザーメンでえ〜♥

ご主人様の子供うみ"ま"す"う"う"♥

おっおっ♥種付プレスききますううううう♥いってるううう♥

いっ"て"る"か"ら"あああ♥

これ以上いったらああ♥

ん"お"っ"♥お"っ"♥お"お"お"♥バカになりゅううううう♥

ミ1⇒あら♥

どちらもすごいアクメ声ですこと♥

気持ちよくアクメきめていただき私も嬉しいですわ♥

ミ2⇒赤ちゃんミルクドロドロですっごいにおいですよお〜♥

ミ1⇒ほんとですわあ〜♥

くんくん♥ん♥ん♥ああん♥貴方のせいでイッてしまいましたわ♥

ミ2⇒僕ちゃんママたちを発情させて悪い子でちゅねえ〜♥

悪い子にはこうでちゅよお〜♥

ミ2⇒でもお〜よくいけまちたね♥特別に僕ちゃんをいっぱい可愛がってあげまちゅねえ〜♥

ミ1⇒ですからいまは思う存分下品なアクメ顔とアクメ声を私に聞かせてくださいまし♥

シ⇒はあはあ...♥お"っ...♥お"っ...♥まだいってる...♥おおお"っ♥

ミ1⇒あら？そろそろ薬が効いていたみたいですわね♥

ミ2⇒何でわかるかって？

それは僕ちゃんの体のいろんなところに淫紋が浮かんできてるからでちゅよお〜？

ミ1⇒首筋に♥

ミ2⇒両乳首♥

ミ1⇒下腹部に♥

ミ2⇒そしておちんちん♥

ミ1⇒そのタトゥーにはわたくしの魔力が込められてますの♥

ですので貴方の思考が私に筒抜け♥

全てお見通しとなってしまいますの♥

ミ2⇒それだけじゃなくてママの言葉聴くだけで感度がびんびんになっちゃう♥

素晴らしいものなんでちゅよ〜♥

ミ1⇒そして何より思考が書き換えられ私の命令が絶対になりますの♥

ミ2⇒っといっても僕ちゃんにはもうあまり必要なそうでちゅけどねえ〜♥

ミ1⇒説明が終わったところでここで貴方には寝ていただきますわ♥

このまま起き続けると今の思考との矛盾を引き起こして思考がズタズタになり廃人となってしまうので♥

ミ2⇒だからねんねちまちょうねえ〜♥

ミ1⇒大丈夫ですわ♥次目が覚めたら正真正銘私の下僕♥

いっばいいいばい可愛がってさしあげますので覚悟してくださいまし♥

ミ2⇒それじゃ

ミ1⇒おやすみ♥下僕さん♥

↑↓(同時に)

ミ2⇒おやすみ♥僕ちゃん♥

Chapter5 奴隷幸福宣言

ミ⇒憐れな日本の皆々様ごきげんよう♥私は貴方方の敵でありじきに貴方方の飼い主となりますインスベータが女王ミザリアと申します♥以後お見知りおきを♥

今国内の電波、インターネット等々全てのネットワークをジャックしてテレビネット始めとして駅の放送まであらゆる媒体より全国の皆様にお伝えしておりますわ♥

まずは挨拶代わりに私から皆様に一言日頃の謝辞を言わせていただきますわ♥

日頃より申し訳程度の抵抗感謝いたしますわ♥

おかげで毎日蹂躪するのが楽しくて楽しくて仕方ありませんわ♥

口では威勢よく反発しますのにいざ対峙いたしまうといともたやすく私に尻尾を振りおねだりする姿非常に浅ましく愛おしいですわ♥

その調子で無駄な抵抗どうかお続けになってくださいまし♥

さて本日このような放送をいたしましたのはほかでもありませんわ。

貴方方のために勇敢にも身を挺して私たちに歯向かった方々の勇姿を皆様にお見せしたくこのような場を設けさせていただきましたわ♥それではお二方ご挨拶を♥

シ⇒はあい♪皆様の平和のため戦ったみんなのレゾネーター♪ミスティックハーモニーレゾパープル♥あらため〜♥おちんぼ大好きメス便器♥マゾパープルでえす♥

ミ⇒ほら貴方の番ですわよ♥貴方の口上はダイナミックハーモニーレゾレッド改め敗北大好きマゾちんぼ♥マゾレッド♥ですわ♥

さぁ生まれ変わった浅ましい姿皆様にそして私に披露してくださいまし♥

あら♥少々元気がないようですわね♥緊張なされているかしら？恥じらってはなりませんわ♥私の下僕ならもっと大きな声で皆様に聞こるよう高らかに言わなくてはなりませんわ♥

シ⇒レッドお〜♥はやく〜♥まんこハメハメさせてよお〜♥

ミ⇒ふふ♥すっかり発情しちゃってかわいいこと♥

皆様を待たせてはなりませんわ♥さぁもう一度名乗ってくださいまし♥

ミ⇒ふふ♥よろしい♥よいご挨拶ですわ♥

ミ⇒さて皆様今のお聞きになられたでしょうか？貴方方の平穏を守っていたお二方が私たちの理念に共感し自ら私たちに忠誠を誓っていただけることになりましたわ♥

これで皆様との和平に大きく近づきましたわ♥

絶望してくださってるでしょうか？

シ⇒みんなごめんね〜♥負けっちゃって〜♥その代わり敵に寝返った尻軽ビッチの痴態いっぱい見てね♥

ミ⇒そうですわ♥このマゾ犬二匹の陥落を記念いたしまして今からこの二匹に公開敗北宣言セックスをしていただきますわ♥

シ⇒そうなの〜♥今からぁ〜わたしはこの下っ端君たちと生ハメガチ交尾するから私でシコってくれると嬉しいなぁ〜♥

そしてもう君たちには勝ち目なんてないからさっさと降伏してくれるともっと嬉しいなぁ〜♥

ミ⇒まぁそれでは少々退屈ですのでそこまでしていただかなくて結構ですわ♥

今日のところは私たちに負けるとどれほど幸せになれるかを知っていただければ十分ですわ♥

ミ⇒ね？あら？きょとんとしてマゾレッドさんは誰と交尾するか聞かされてなかったのですか？

でしたら教えてさしあげますわ♥

そ・れ・は♥...私とですわ♥

あら？

もしかして私のナカにその粗末なちんぽをいれてハメハメおセックスできると思ってまして？

下僕の方で生意気ですわよ♥

私が貴方の肉壺になるわけないではありませんか♥

肉壺になるのは貴方の方ですわ♥

貴方は貴方のそれよりもりっぱな私のふたなりちんぽに媚へつらってご奉仕するのですわ♥

シ⇒いいなぁ〜♥私もミザリア様の極太凶悪ちんぽご奉仕してずぼずぼ犯されてザーメンタンクになりたあい♥

ミ⇒あら♥そんなこと言うとなからハメハメしてくれるこちらの方々に失礼ですよ♥

シ⇒うそ♥うそ〜♥

みんなのおちんぼ様大好きですう〜♥

このおちんぼ大好き肉便器に好きなだけぶちこんでくださあい♥

おまんこもアナルも使い放題ですよー♥

使ってくださいあい♥

ミ⇒さて♥

始める前にお二方に屈辱の敗北宣言をしていただきますでしょうか♥

私たちに完全屈服したこと♥

そして何より今聞いてくださってる愚かな人間どもに謝罪していただきますわ♥

シ⇒はあい♥悦んで♥

ミ⇒ではマゾパープル♥豚らしく敗北宣言してくださるかしら♥?

シ⇒あぁ♥お姉さま最高ですう♥やりますう♥やりますう♥やらせてください♥

ミ⇒貴方も正面見つめていないでマゾパープルの痴態...しかと目に焼き付けてさしあげなさい♪

シ⇒ふごっ♥ふごっ♥ぶひっ♥

私マゾ豚パープルはぁ〜♥

インスベータに完全屈服し一生その身をこき使われることを誓うぶひいい♥

ふごごっ♥

人類の救えないゴミの皆さんのこと裏切ってごめんなさあい♥

みんなのことよりハメハメすることしか能がない豚を許してくださいあい♥

ぶひっ♥ぶひっ♥

罰としてマゾ豚のガチハメ生交尾見てくださあい♥ぶひいい♥♥ふごっ♥ふごっ♥

ミ⇒よくできました♥豚真似お似合いでしたわよ♥豚そのものでしたわ♥

シ⇒ぶひっ♥ぶひっ♥そんなに褒められるとおまんこぬれぬれになっちゃいますう〜♥

ミ⇒さて次は貴方の番ですわよ♥豚の真似しながら私の言葉を復唱してくださるかしら♥

シ⇒ほらぁ〜♥豚の真似だよ♥

シ⇒こーしてやるの♥ふごっ♥ふごっ♥ぶひい♥そうそう♥

ミ⇒ではいきますわよ♥

ミ⇒私マゾレッドはぁ〜

シ⇒ぶひっ♥ぶひっ♥ふごごっ♥

ミ⇒弱すぎてミザリア様にボロ負けしたので奴隷になっちゃいましたぁ〜♥

シ⇒ふごっ♥ぶひいいいいっ♥

ミ⇒くそ雑魚人類さん守れなくてごめんなさい♥

お詫びとしてミザリア様とのケツ穴はめりんこ♥

マゾメス交尾する姿最後まで見て軽蔑してくださあい♥

シ⇒ぶひいいいいいいっ♥

ミ⇒よくできました♪

ではまず...

私のこのちんぽ舐めてくださるかしら♥

貴方のことを気持ちよくしてくれる大事なちんぽですわよ♥

丁寧に扱ってくださるかしら？♥

シ⇒みんな私にちんぽ恵んでくださあい♥

舐め舐めシコシコハメハメなんでもしますからちんぽ出してくださいあい♥

ミ⇒さて♥あちらはあちらでお楽しみのようですのこちらも♪

はじめにちんぽ様にご挨拶のキスしてくださるかしら♥

こーこ♥このちんぽの先っぽ♥

精液が出る穴があるところと貴方の口を合わせるのですわ♥はいどうぞ♥

ミ⇒よくできました♥では舐めてください♥お隣さんのように♥

シ⇒んぽ♥ちんぽ♥じゅぽ♥じゅぽ♥くっさいちんぽ大好き♥あー♥こっちのちんぽちんかすチーズいっぱいついててくっさあ♥だあいすき♥

ミ⇒あれくらいあさましくやってくださいまし♥

そう♥口の奥まで咥えてジュポ♥ジュポ♥おいしそうにほおばってくださいな♥

ん...♥その口をすばめて空気を抜かれるやり方気持ちいいですわ♥

もっとやってくださいまし♥

んん♥ああん♥そのちんぽのことしか頭にない顔最高ですわよ♥

もっと私に見せてくださいな♥

ジュポ♥ジュポ♥じゅるる♥私のちんぽそんなに美味しくて♥？そうですか？いい子いい子♥みんな貴方が美味しそうにちんぽしゃぶってる姿見てくださってるでしょう♥どれ少々私の力で下々の声でも貴方に届けてさしあげましょうか♥

モブA(26歳OL)⇒男のく

モブB(女子高生)⇒なんでこんなもの見せられなきゃいけないの...サイアク...信じてたのに...

モブC(女子大生)⇒うわぁ...人類の恥さらし

ミ⇒んふふふ♥ひどい言われようですわね♥

今まで彼女らのために戦ってあげてたというのにこの手のひらの返しよう♥

見捨てて正解ですわ♥んふ♥

でも安心してくださいませ♥

私は...あはっ♥ふう♥貴方のことを裏切りませんわ♥

ご奉仕を怠ればその限りではありませんが♥

あっ♥ちょっ♥あっ♥あぁん♥そんなに吸われるとイってしまいますわ♥

私に求められて悦んでおりますのね♥んっ♥ふふ♥可愛らしいこと♥

んっ♥ふう♥でしたら啜えるだけでなく裏筋の方金玉から...ん♥

先っぽに向かっていやらしく舐めてくださるかしら♥あふう♥

私そこ...ん♥舐められるの大好きですの♥

あぁん♥そうですわ♥んふ♥あっ♥ほんとにお上手ですわね♥

私がこの舐め方が好きなのはですね...ん♥気持ちいいのも...ん♥ありますが何より...
んっ♥卑しく舐める顔を拝めるからですわ♥

あふっ♥あっ♥だめ♥んん♥とても初めてとは思えませんか♥

あぁん♥そこ♥あはっ♥はぁ♥はぁ♥

少々汁が漏れてしまいましたわ♥

あっ♥ん♥即座に舐めるとは♥んふう♥ふふ♥

お口に合いますでしょうか？

よかったですわ♥うふう♥

私そろそろ一度吐精したいですわ♥

そのまま先っぽを舐めたり啜えてくださいませ♥

んっ♥ふう♥あっ♥

んっ...♥あっ...♥もっと激しく舌を扱ってくださいまし♥

あぁん♥カリを...♥んんう♥あぁ...♥ダっ♥メっ♥

チロチロ...ん♥ペロペロするのはずるいですわ♥

いってしまいますわ♥イク♥イク♥あぁん♥あっ♥

下僕にちんぽ舐められて...ん♥イって...はぁ♥はぁ♥しまいますわ♥

さぁ...はぁ♥愛しい私のマゾ奴隷♥

私のザーメン...ザー汁...口に...んっ♥含んでくださいまし♥

あぁん♥ダメ♥イク♥おっ♥イクう♥イクっ♥うっ♥んーっ♥

(射精音)

おっ♥おっ♥ふう♥んっ♥んんっ♥ふう♥ふう♥はぁ...♥そう♥ん♥そのまま全て口に含んでくださいまし♥

ふう♥そして口を開けて私の液と貴方の唾液が混ざりあう様子を見せてくださいまし♥

あっ♥んふふ♥あはっ♥なんと汚くはしたなく品のない顔♥

ゾクゾクいたしますわ♥ほら皆様にも見せて差し上げなさい♥

モブA(26歳OL)⇒きも...こっち見んな...

モブB(16歳女子高生)⇒もうやだ...さいあく...消えてよ...

モブC(21歳女子大生)⇒なにこれw生き恥ってやつ? w

ミ⇒概ね大好評ですわね♥ではそのまま見せつけながら美味しそうにごっくん♥

はぁいお上手♥よくできました♥

お口に合いましたでしょうか私の濃ゆいザーメン♥

ミ⇒ふふ♥それはよかった♥ですがそれで満足してもらっては困りますわ♥

むしろ私にとってはこちらが本命♪

貴方のアヌス♥いやケツ穴♥

それをハメ犯したために私のちんぽはこの通りバッキバッキのフルボッキ♥

血管まで浮き出てしまってますわ♥

それにほら♥

あちらさんはもう盛りに盛っておりますよ♥

シ⇒ちんぽしゅき♥ハメハメするのしゅきい〜♥おっ"おっ"そこやべ♥ザーメンどんどんピュッピュッして〜♥顔でも髪でもどこでもザーメン便器にだしてくださあい♥イグイグイグうううう♥えへえ〜♥ザーメンくっさあい♥

ミ⇒よくご覧なさい♥

今に貴方もあのような浅ましい存在になりますのよ♥

では四つん這いとなっておケツ出してくださるかしら♥

ミ⇒そしてそのままケツ穴を見せてくださいまし♥

ふふ♥よい眺めですわ♥

ミ⇒しわがはしたなくひくひくぴくぴく♥

私に見られて嬉しいやら恥ずかしやら♥

ミ⇒でもこのちんぽをぶちこまれたくて仕方ないってことだけは伝わりますわ♥

ではその気持ちを込めておねだりしていただけるかしら♥

ミザリア様のぶっといちんぽでメスにしてくださいー♥とおけつ可愛くフリフリしながら全力で私に媚びへつらい私を誘惑し欲情させてくださるかしら♥

はい♪どうぞ♥

ミ⇒ああ♥なんと愛くるしい♥そそられますわ♥

もう我慢なりません...ぶち犯しますわ♥

ミ⇒ああ♥はあ♥きつつ♥うっ♥

きつきつですわね♥

奥にいれるのも一苦労...んっ♥ですわ♥

ふう♥ん♥ですがこれからいっぱいこぼこ...♥

入れてっ♥んっ♥犯してっ♥んっ♥侵略してっ♥お"っ"♥おっおっおっ♥やっべっ♥

私のちんぽケースになるですわ♥

ほらわかりますでしょうか？

ゴリゴリ♥んふっ♥ゴリゴリっ♥お"お"♥お"っ♥そこっ♥

貴方の腸壁を引っかいておりますのがっ♥

私のかり首ですわよ♥

よおく体に染み込ませてくださいませ♥

ゴリゴリっ♥ゴリゴリゴリゴリいい♥

モブA(OL)⇒うわぁ女の子じゃんよっわーw

モブD(ギャル女子高生)⇒私でもかんたんに倒せそー♪

モブC(女子大生)⇒よっわwざっこwはずかちーw

モブE(幼女)⇒ざーこ♥ざーこ♥メスレッド♥

ミ⇒んっ♥うっ♥ふう♥あらあら♥存外物好きですわね♥

貴方のパコハメを見て笑いものにしてくれておりますわよ♥

よかったですわね♥

見捨てた方々からの罵倒♥

う"っ♥ふっ♥ふっ♥ふうう♥有り難いことですわね♥

皆様に感謝なさらなくてははいけませんわね♥

うっ♥ふっ♥ほらっ♥感謝なさい♥

モブA(OL)⇒うっわwきもwうけるwざっこw

モブD(ギャル女子高生)⇒どういたしましてーwお似合いだよその負け姿♥ざーこ♥
ざーこ♥

モブC(女子大生)⇒裏切っておいてなにがありがとだよwこのマゾメスwざーこ♥

モブE(幼女)⇒もっといってあげるー♥ざーこ♥ざーこ♥まーけ♥まーけ♥かんたん負け
負けヒーロー♥

モブA・C・D・E⇒ざーこ♥ざーこ♥ざーこ♥ざーこ♥ざーこ♥

ミ⇒ふふ♥容赦なく吐き捨てられた言葉有り難いですわね♥

ん♥言われる度に...んおっ♥おっ♥おお♥ふう...ふう...♥

ケツ穴♥う"っ♥

締め付けやっべ♥これっ♥

うっ♥私のぶっといちんぽ咥えられて幸せですか？

これが堕ちる悦び♥

貴方の手にした幸せですわ♥

ミ⇒ですが貴方を手にしたのはあくまで私♥

うっ...♥お"っ♥ふう♥はぁ♥う"っ♥私のためにっ♥お"ぐっ♥つくし私を悦ばすのです
わ♥

もっとおぐっ♥おっ♥おおおおお♥ふっ♥ふっ♥ふっ♥ふううう♥

んっ♥貴方のケツ穴♥ふう♥ふう♥

もはや貴方のものではないですわ♥

私のちんぽケース兼ザー汁便所♥

嬉しいですわよね♥

でしたら喘ぎよがりちらしなさい♥

世界に聞かせて差し上げなさい♥

そして私たちに支配される悦びを伝えるのですわ♥

シ⇒伝える伝えますう〜♥人類なんてくそ雑魚ですう〜♥女はちんぽに負けてー♥

男はミザリア様にまるで歯が立たず誘惑されメスにされ服従射精キメちゃう劣等種
ですう♥

ちんぽすき♥ちんぽ♥ちんぽ♥ちんぽお〜♥

ミ⇒うっ♥ふう♥んふ♥聞いてくださる方にひどい言い方ですわ♥

ではマゾパープル♥ついでですし下等人畜たちにお知らせしてくだるかしら♥

シ⇒はぁーい♥

低能な人類共♥

わたしー貴方たちを守るのほんとにつかれちゃいましたー♥

だってすぐ私たち頼る上にすぐ逃げ出して自分の保身に走るそんな人たち助ける価値ないですよー♥

そんな無駄なことするくらいならこうしてちんぽしゃぶっておまんこハメハメして便器として使っていただける方が幸せってインスベータの方々に身をもって教えられちゃいましたー♥

これを見聞きしているおバカさんたちももすぐにこーなるんで楽しみに待っててくださいーい♥

ちゃんと宣伝したからちんぽもっとちょうだい♥

このちんぽうつま♥うっめ♥

ミ⇒んっ♥ということでマゾパープルもおっしゃるとおりっ♥ふっ♥

突然ですがこの放送後全世界に一斉攻撃をかけさせていただきますわ♥

もちろんマゾレッド♥

貴方にも向かっていただきますわよ♥

100人捕らえる毎にお射精一回♥

1000人達成で一パコさせてさしあげますわ♥お返事は？♥

はいではなくてぶひっ♥ですわよ♥

ほおうら♥

そうよろしい♥

ではそろそろ終わりといきましょうか♥

バックは飽きましたし体位を変えましょうか♥

そもそも支配する側が動くというのは非効率だと私思いますの♥

ですからこのように

私と真正面♥

ラブラブ体面座位エッチというのはいかがでしょうか♥

ほら♥私のおちんぽ咥えて私に抱きつきいてくださいまし♥

もっとぎゅぅぅと♥私に甘えてよろしいのですわよ♥

よしよし♥皆にいちいちラブラブアナルセックスを見せびらかそうではありませんか♥

私は動きませんから貴方が動くのですわ♥

私が気持ちよくなるように貴方が気持ちよくなるように♥

貴方ならできますでしょ♥

そうそう私のちんちんの気持ちいいところを腸壁にごしごしごりごりこすり付けてっ...♥

...ん...♥あっ♥お”お♥や”っ♥ちんぽっ♥あ”あ♥おおう♥ほら♥貴方も♥お”っ♥やっべっ♥

んっんん♥お”っ♥ふう♥失敬っ♥

気持ちよくなっていいのですわよ♥

あら？もしかしてお忘れ？

仕方ありませんわね♥

ん...♥ふう...♥うっ♥ふう♥ここ♥ここですわよ♥

前・立・腺♥

ぐうり♥ぐうり♥ぐううううりっ♥お”っ♥うっ♥

圧迫される度に♥おほっ♥あっ♥んぐっ♥

雄からメスに切り替わる分岐点♥んっ♥弱点っ♥ふっ♥欠点っ♥

はいぐーりぐりー♥パン♥おっ♥パン♥おっ♥ぐーりぐーり♥パン♥うっ♥パン♥うっ♥

ふふ♥一打ちするたびにお口だらしくなってますわよ♥

取り繕わなくて結構♥ん♥ふうふう♥んっ♥おっ♥

メス顔さらしてくださいまし♥

そうそのまま口元緩めて舌を私まで近づけてくださいまし♥

ジュル♥ジュルルルルルじゅう♥ちゅば♥

ぷはっ♥あーっ♥うっめ♥...ではなくて...んっ♥ごちそうさま♥主人とのべろちゅーお気に召したでしょうか♥

ふふ♥もっとですか？♥わがままな下僕ですこと♥

でも♥私は貴方だけのものではありませんのよ♥

シ⇒そーですぅ♥私もミザリア様にパコられて愛されベロチューされたいのー♪
そこ代わってよお〜♥

ミ⇒あらあら♥♥下っ端さんたちのちんぽ不満でしょうか？♥

シ⇒悪くはないんですけどぉー♥

やっぱりミザリア様の立派なおちんぼハメハメ隣で見させられて我慢できるわけないじゃないですかぁ〜♥

ミ⇒ふふ♥欲望に忠実で大変模範的ですよ♥ですがもうしばらくお待ちください♥射精がまだですよ♥

シ⇒どっちのですう〜？

ミ⇒どっちの？私のですが？

ああ♥そういえば貴方もおちんちんついてましたのね♥

下腹部の違和感は貴方のおちんちんでしたか♥

気づけなくて申し訳ありませんわ♥

シ⇒あー♥ミザリア様の体に埋もれてて〜♥全然みえない♥

前々から思ってたけどちゃんとちんちんついてる〜？♥

ミ⇒ついてようがついてまいが関係ありませんわ♥だって使わないですもの♥

シ・ミ⇒あははははははあははwww

シ⇒ははははw確かにそうですね♥

ほら♥メス豚娼婦レッド♥さっさとミザリア様を満足させなさいよw

もっと腰つかって♥ぱーこ♥ぱーこ♥

ミ⇒ぱーん♥ぱーん♥

シ⇒たりない♥メス穴をもっと閉めて自分だけ気持ちよくなっちゃダメ♥

ぱーこ♥ぱーこ♥ぱーん♥ぱーん♥

ミ⇒ぱー♥っん♥ああん♥ぱー♥っん♥そう...♥です...わ♥んんっ...♥あ♥あ♥...ぱーんっ♥ぱー♥っあ♥ん♥

シ⇒ミザリア様きもちよさそー♥

やればできるじゃん♥

ちんちんよりお尻の穴の方がよっぽど使えるね♥

ミ⇒んっ♥お"っ♥お"お"お"お"♥おっ♥っべ♥おっふう♥でっ♥はあ♥...射精♥おっ♥いたしますわ♥

シ⇒だって♪ほらミザリア様の高等な子種受け取るんだからおねだりしなさいよ♥

ぼくのメスオスマンコ孕ませてくださーいって♥

ミ⇒おっ♥しかと...うっ♥うけとりなさい♥ほら♥孕み...♥なさい♥おら♥おら♥おら♥孕め♥孕め♥孕め♥

シ⇒孕め♥孕め♥孕め♥女の子になっちゃえ♥

ミ⇒っ♥おっ♥おおおおお♥んほおおお♥いぐ♥いぐ♥いぐ♥いぐうう♥

シ⇒孕んじゃえ♥敗北マゾメス豚ヒーロー♥

(射精音)

ミ⇒あっ♥おお♥でる♥でる♥いぐっ♥おっ♥んほっ♥おお♥

おっ♥おっ♥おっ♥っは♥

シ⇒うわぁ♥両方とも痙攣させてエッロー♥

あー！ミザリア様の子種出てるうー♥ちゃんと受け止めなよー♥

ミ⇒んっ♥ふう♥いいの...ですわ♥はぁ♥はぁ♥ファーネちゃん♥あまりにきもちよくて♥いっぱいでしたの♥

シ⇒ミザリア様をここまで満足させるなんてすごーい♥どう？ミザリアの精液注がれた感想♥幸せ？

ミ⇒はぁ♥はぁ♥聞かずともわかりますわファーネちゃん♥

シ⇒んー？

ミ⇒私のお腹のあたりご覧になってくださいまし♥

シ⇒どれどれー？くっw出てるw誰も手コキしてないのに勝手にイッてるwトロトロの精液が情けなく垂れてるwww

白いトロトロおしっこ気持ちいいでしゅねー♥

ミ⇒マゾメスイキよくできました♥

シ⇒立派にメスイキできてえらいねー♥

ミ⇒いーこ♥いーこ♥

シ⇒いーこ♥いーこ♥

ミ⇒さて♥区切りがよろしいのでこの放送締めましょうか♥

シ⇒えー♥私まだミザリアと生はめ交尾してないんですけどー

ミ⇒では特別にこの放送後に♥

シ⇒やったー♥ミザリア様だーいすき♥

ミ⇒その代わり最後に私たちの家畜となっていただく予定の人類へ一言残してさしあげなさい♥

シ⇒はい♥人類のみなさん♥私は今からミザリア様との幸せ生セックスしますけど皆さんは死なないようにせいぜい頑張ってくださいーい♥

ミ⇒メスイキ元ヒーローさんからも何かありますでしょうか？

シ⇒あっレッドがいつも言ってた言葉みんなに言ってあげなよ♥

ミ⇒そんなものありましたでしょうか？

シ⇒「助け合いは世界のハーモニー」とかいうむず痒くなる言葉が口癖だったんですよー

ミ⇒確かにそんなこと仰ってましたわね♥

ふふ♥ここで否定するのは造作もないこと...

ですのでここは一つ人類の皆様に実証していただきましょうか♥

ミ⇒メスイキ下僕さん♥私の囁きに沿って言ってくださいますでしょうか？

ミ⇒人類の皆さん♥

ミ⇒せいぜいお互い助け合って

ミ⇒自分の身を守ってください♥

シ⇒よくできましたー♥人類のみなさんきいてましたー？調和ってやつ私たちに
見せてくださいねー♥

ミ⇒健闘していただけること楽しみにしておりますわ♥それでは人類の皆さん♥貴方
方にとって今日という日が...

シ⇒よい一日でありますように♪

ミ⇒よき一日でありますように♪

あとがき

偶然か必然かこんなところまでご覧いただきありがとうございます。
気分で後書きを残したかったのでこのような形で書き残させていただきます。

まずこの作品の道筋を簡単にご紹介いたします。この作品は朧げな記憶を頼りにすれば2019年秋からプロットを作りはじめ、2020年の初頭に書き上げたものと記憶しております。それから紆余曲折あってずれ込み、今年2022年の2月くらいから編集をちまちま始めて今に至るという大変ラグがある作品になっております。

なのでこの作品を書き上げた当時の印象はもはや追憶の彼方です。その代わりに押し寄せるは編集時に対峙する2年前の自分が書いた文章への圧倒的懷疑と失望です。セリフ回しやテンポやキメなどなど等々、もっとこうしたらよいのでは？ああ書けばよかったのでは？などなど過去己が書いた文字への疑いが過去の自分への失望の矢となり雨となりて我が身に降りかかってくるではありませんか。そんな中でもなんとか自分を納得させられるように、聴いた方が一人でも満足してもらえる作品にしようと思いながら編集をいたしました。その結果やはり全てを納得できたわけではありません。悔いる点もあります。しかし編集という当時の自分やりたかったことを再構成する行為を通して、納得できることは格段に増えました。なによりこうして作品として一区切りをついたことで心の負債が清算され次へ向かえることができたのでむしろ清々しい気分です。清算したから次の作品に向かえます。構想を一切固めてないのですが、今回できなかったところことを踏まえてもう一作自分が更に納得できる悪堕ちものを作りたいと思います。やるとしたらめっちゃくちゃ甘々なお姉さまに気持ちよく負けちゃうやつ作りたいですね！！

以上のように書いた本人としては己が書いた台本の未熟さがどうしても拭えない作品ではありますが、たとえそうであったとしてもこの作品が一つの作品として足りえたのであれば、それは一重に演者様と絵師様のお力以外の何物でもありません。妖艶を体現したようなミザリアお姉さまを演じていただいた分倍河原シホ様、下品と聡明の間を行き来する落差の激しいキャラを見事に演じ分けきっていただいた涼貴涼様、そしてそれらを見事にイラストに落としこんでくださったちもさく様お三

方には心より感謝いたします。特にちもさく様に関しては以前から作品が好きで悪
落ち作品を作るときはお願いしたいと思っていたので、引き受けていただいて大変
光栄であります。

気持ちの整理とともに謝辞を述べられたのでこの辺でおいとまさせていただきます
す。それでは皆さん次の作品でお会いいたしましょう。

ごきげんよう。

2022/3/25 ぶたぶたべたべ